

**2025 年度 滋賀医科大学**

# **学修・学生生活実態調査報告書**

(抜粋版)

対象期間：2024 年度



**医学・看護学教育センター**

# CONTENTS

はじめに	_____	2
調査概要	_____	3
学生生活編	_____	4
I．回収率	_____	5
II．生活について	_____	6
III．交友関係について	_____	21
IV．学業について	_____	23
V．附属図書館の利用について	_____	36
VI．課外活動について	_____	38
VII．卒業後の進路について	_____	42

## はじめに

本調査は、本学における学生生活のうち、「住居、経済生活、交友関係、学内施設の利用、課外活動、卒業後の進路」などについてその実情を把握し、学生生活の一層の向上及び修学上の支援、福利厚生の改善等への参考資料とすることを目的として 2006 年度に始まり、今回で 20 回目の実施となりました。2019 年度調査から、従来、医療人育成教育研究センター教育方法改善部門（医学・看護学教育センター内に包括）において実施していた「学習に関する実態調査」と統合し、学生の皆さんの様子を正課教育・正課外教育それぞれの側面から包括的に把握できるようにしました。

今回は、全体として約 44%の回答であり、コロナ禍で低下した回答率も徐々に回復しています。今後も、さらに学生の皆さんの意見をより多く集められるよう、調査方法などを改善していきたいと考えています。また、今回も本学の課題や改善方法について建設的なご提案を多数いただきました。寄せられた意見に対して、本学各部署でしっかりと検討し、対応を進めていきます。

本学は、常に教育や学修支援を主軸として施設や各種制度の改善を行っており、学生の皆さんのご意見も取り入れながら、2024 年度入学生以降のカリキュラム改訂や、開学 50 周年記念事業の 1 つである学内施設の改修を実施しました。

今後も、学生の皆さんからの様々な要望や意見を大学運営に取り込み、適切に学生支援に反映することで、修学上の支援や福利厚生の改善、学生生活の向上をめざしていきます。

医学・看護学教育センター長  
松浦 博

## 調査概要

本調査は、2004 年 7 月に医療人育成教育研究センター学生生活支援部門会議内に設置された専門委員会において検討を行い、2006 年度から開始した。以降、毎年実施し、滋賀医科大学における学生生活のうち、「住居・経済生活・交友関係・学内施設の利用・課外活動・卒業後の進路」などについてその実態を把握し、学生生活の一層の向上及び就学上の指導、福利厚生への改善等への参考資料とすることを目的としている。

また、2018 年度調査から、従来医療人育成教育研究センター教育方法改善部門において実施していた「学習に関する実態調査」と統合され、本学学生の実態を正課教育・正課外教育それぞれの側面から包括的に捉えることを可能とした。

### 調査期間

2025 年 4 月 1 日（火）～2025 年 4 月 18 日（金）

### 調査方法

調査は GoogleForms にて行い、4 月の在学生オリエンテーション時及びメールにより通知した。

### 調査対象

2025 年 4 月 1 日時点で在籍している学部学生（令和 7 年度新入生は除く）。

2025 年 4 月 1 日現在

調査対象	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年	計
医学科	103	119	109	99	117	547
看護学科	63	62	59			184
計	166	181	168	99	117	731

### 調査項目

次の 9 項目で構成

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| (1)基本項目         | (2)生活について           |
| (3)交友関係について     | (4)学業について           |
| (5)附属図書館の利用について | (6)課外活動について         |
| (7)卒業後の進路について   | (8)「学修に関する実態調査」調査項目 |
| (9)大学への意見・要望    |                     |

2025 年度

学修・学生生活実態調査

# 学生生活編

---

学生生活編では、「基本項目・生活について・交友関係について・学業について・図書館の利用について・課外活動について・卒業後の進路について」の学生生活に関連する 7 項目からなる選択式の設問を統計的に集計した結果を項目ごとに掲載しています。

## I. 回収率

今年度の調査票回収率は、43.5%（医学科 40.6%、看護学科 52.2%）であった。

学科	学年	学生数	総提出数	提出率
医学科	1年	—	—	—
	2年	103	42	40.8%
	3年	119	63	52.9%
	4年	109	56	51.4%
	5年	99	19	19.2%
	6年	117	42	35.9%
医学科計	小計	547	222	40.6%

看護学科	1年	—	—	—
	2年	63	39	61.9%
	3年	62	32	51.6%
	4年	59	25	42.4%
看護学科計	小計	184	96	52.2%

全体計	731	318	43.5%
-----	-----	-----	-------

（参考：入学区分別）

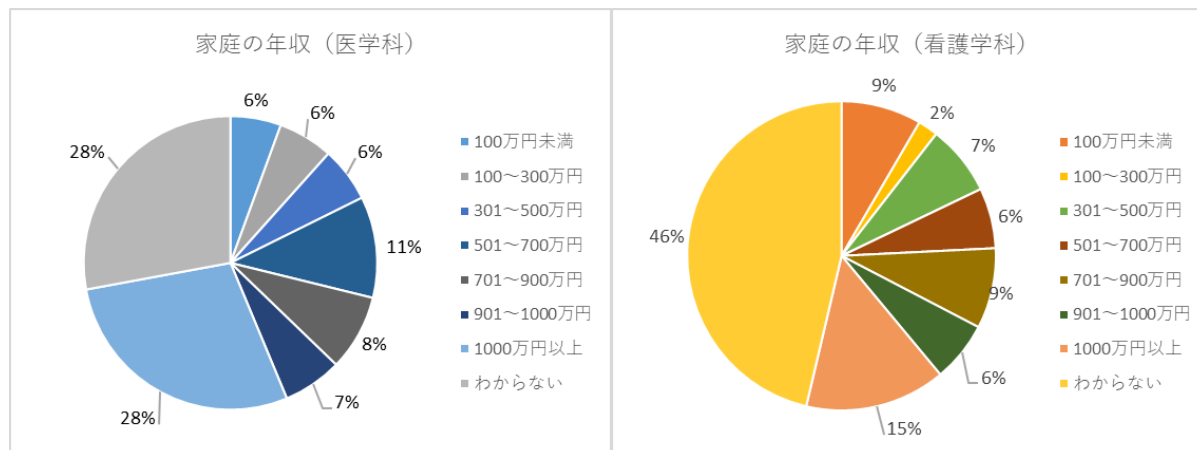
学科	学年	推薦		一般選抜		編入	計
		一般枠	地元医療枠	一般枠	地域医療枠		
医学科	1年	—	—	—	—	—	—
	2年	9	4	25	1	3	42
	3年	15	5	27	3	13	63
	4年	16	4	23	3	10	56
	5年	2	2	8	0	7	19
	6年	13	2	18	1	8	42
	小計	55	17	101	8	41	222
看護学科	1年	—	—	—	—	—	—
	2年	9	2	25	3	—	39
	3年	9	—	23	—	—	32
	4年	6	—	19	—	—	25
	小計	24	2	67	3	—	96
全体計		79	19	168	11	41	318

## Ⅱ. 生活について

### <家庭の年収>

医学科は 1000 万円以上、看護学科は「わからない」の世帯が最も多かった。

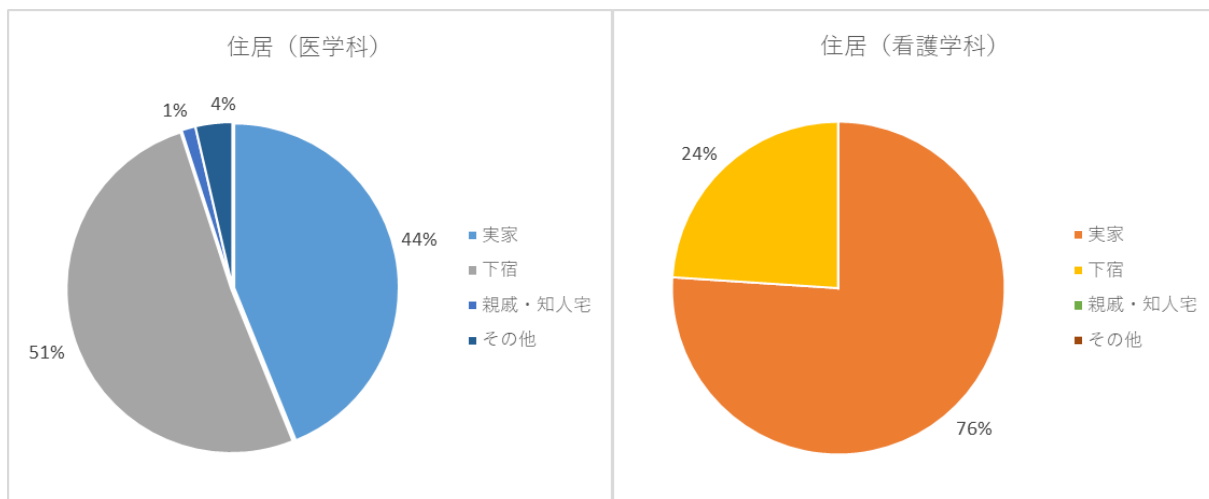
	医学科		看護学科		計	
100万円未満	12	5.6%	8	8.4%	20	6.5%
100～300万円	13	6.0%	2	2.1%	20	6.5%
301～500万円	13	6.0%	7	7.4%	19	6.1%
501～700万円	24	11.2%	6	6.3%	32	10.3%
701～900万円	18	8.4%	8	8.4%	24	7.7%
901～1000万円	14	6.5%	6	6.3%	28	9.0%
1000万円以上	61	28.4%	14	14.7%	105	33.9%
わからない	60	27.9%	44	46.3%	155	50.0%
計	215	100.0%	95	100.0%	310	100.0%



### <住居>

医学科では半数以上の学生が下宿をしており、一方で看護学科では自宅通学が7割を超えていた。

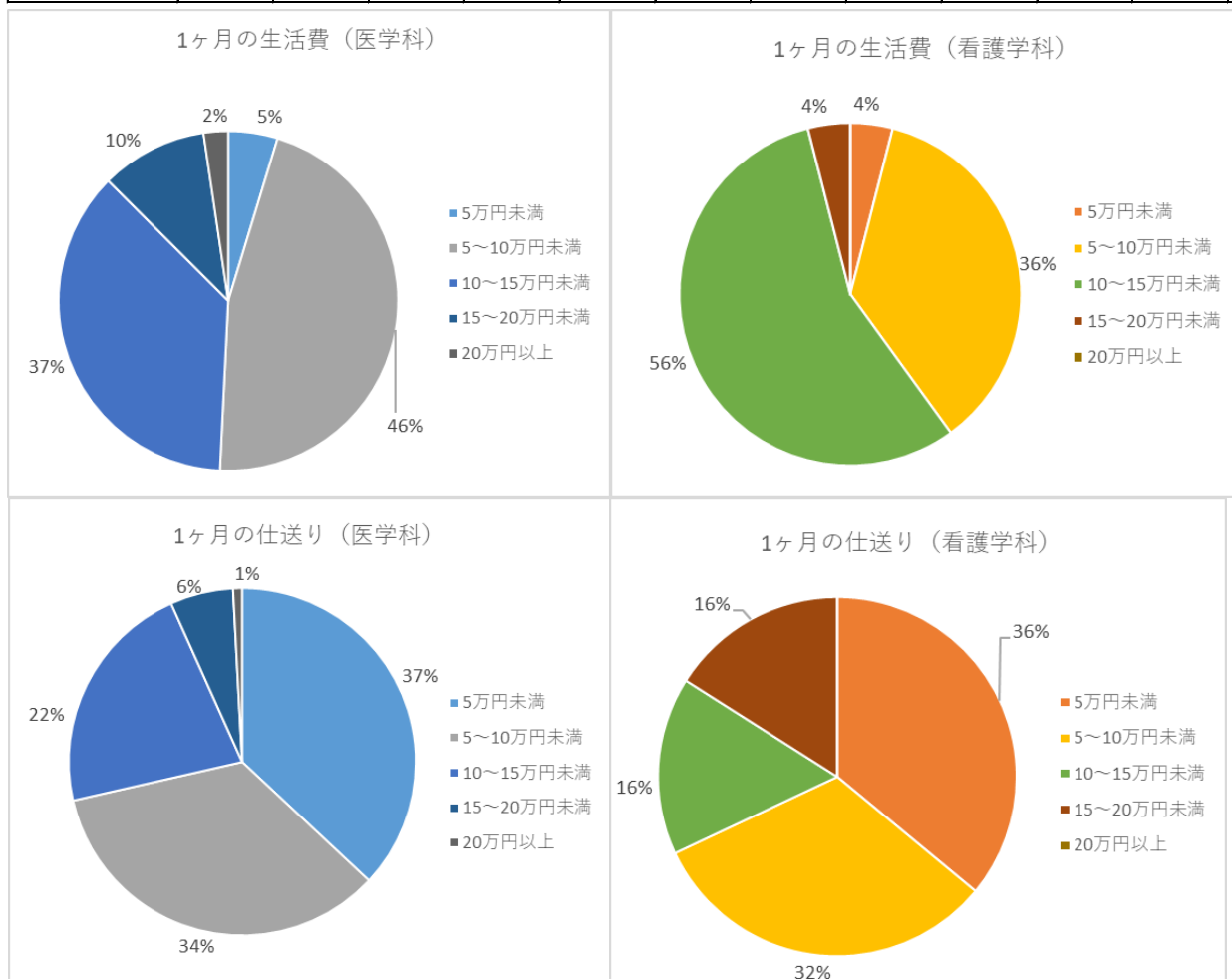
	医学科		看護学科		計	
実家	97	43.9%	73	76.0%	170	53.6%
下宿	113	51.1%	23	24.0%	136	42.9%
親戚・知人宅	3	1.4%	0	0.0%	3	0.9%
その他	8	3.6%	0	0.0%	8	2.5%
計	221	100.0%	96	100.0%	317	100.0%



### ＜生活費・仕送り＞

実家以外で生活している学生において、1ヶ月の生活費は5～10万、10～15万円が大半であり、保護者からの仕送りは両学科ともに5万円未満が最も多い状況であった。

	1ヶ月の生活費					1ヶ月の仕送り				
	医学科		看護学科		計	医学科		看護学科		計
5万円未満	6	4.7%	1	4.0%	7	4.6%	44	37.0%	9	36.0%
5～10万円未満	59	46.1%	9	36.0%	68	44.4%	41	34.5%	8	32.0%
10～15万円未満	47	36.7%	14	56.0%	61	39.9%	26	21.8%	4	16.0%
15～20万円未満	13	10.2%	1	4.0%	14	9.2%	7	5.9%	4	16.0%
20万円以上	3	2.3%	0	0.0%	3	2.0%	1	0.8%	0	0.0%
計	128	100.0%	25	100.0%	153	100.0%	119	100.0%	25	100.0%

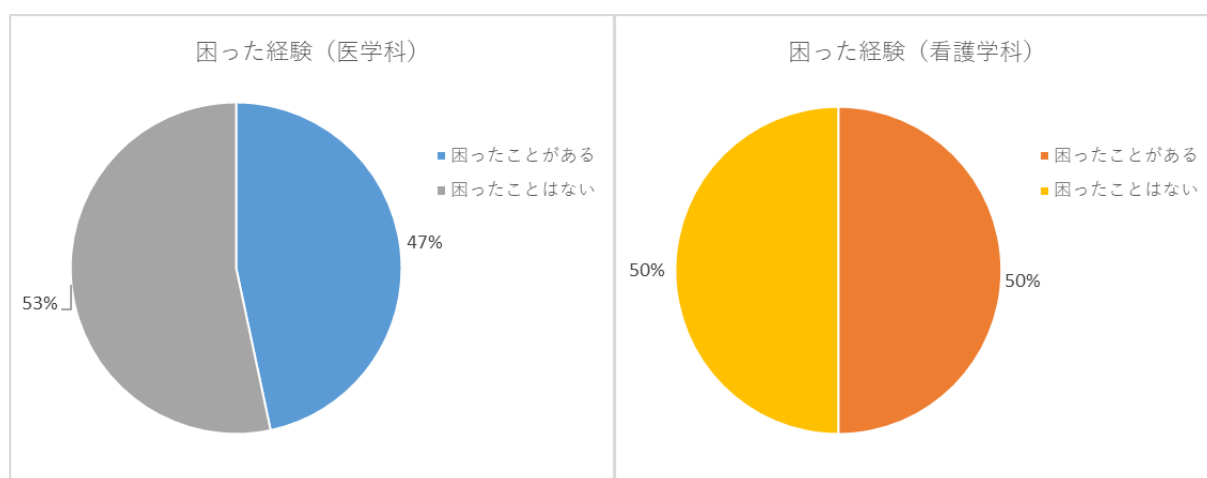


## ＜一人暮らしで困った経験と援助＞

実家以外で生活している学生のうち、両学科の約 5 割の学生が、病気等の時に困った経験があり、困った際に援助してもらった相手を尋ねると、両学科ともに約 7～8 割が家族や友人の援助を受けることができていようである。一方で、医学科では約 1 割、看護学科では約 3 割の学生は援助を受けられていないようである。

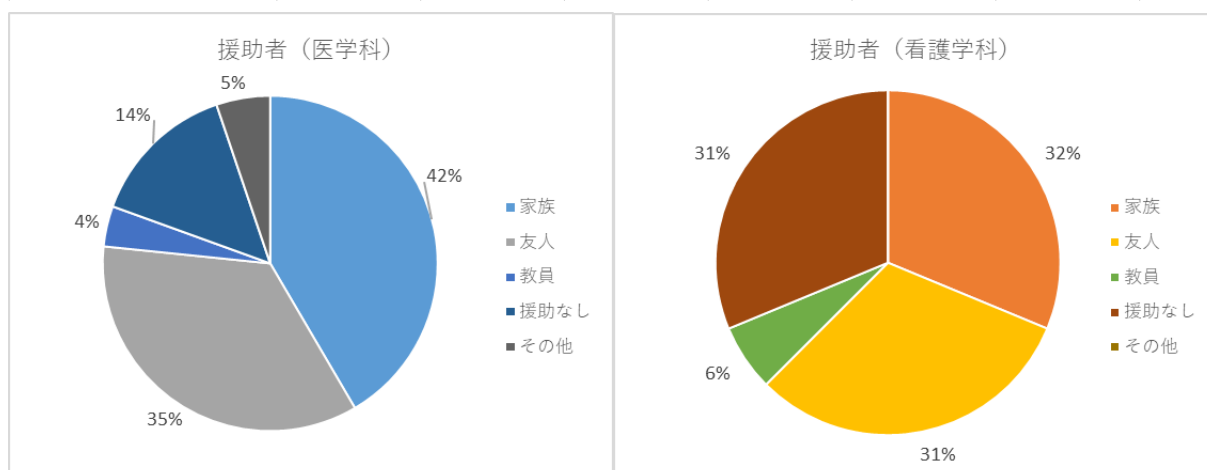
### （困った経験）

	医学科		看護学科		計	
困ったことがある	56	46.7%	13	50.0%	69	47.3%
困ったことはない	64	53.3%	13	50.0%	77	52.7%
計	120	100.0%	26	100.0%	146	100.0%



### （援助者）（複数回答）

	医学科		看護学科		計	
家族	32	41.6%	5	31.3%	37	39.8%
友人	27	35.1%	5	31.3%	32	34.4%
教員	3	3.9%	1	6.3%	4	4.3%
援助なし	11	14.3%	5	31.3%	16	17.2%
その他	4	5.2%	0	0.0%	4	4.3%
計	77	100.0%	16	100.0%	93	100.0%

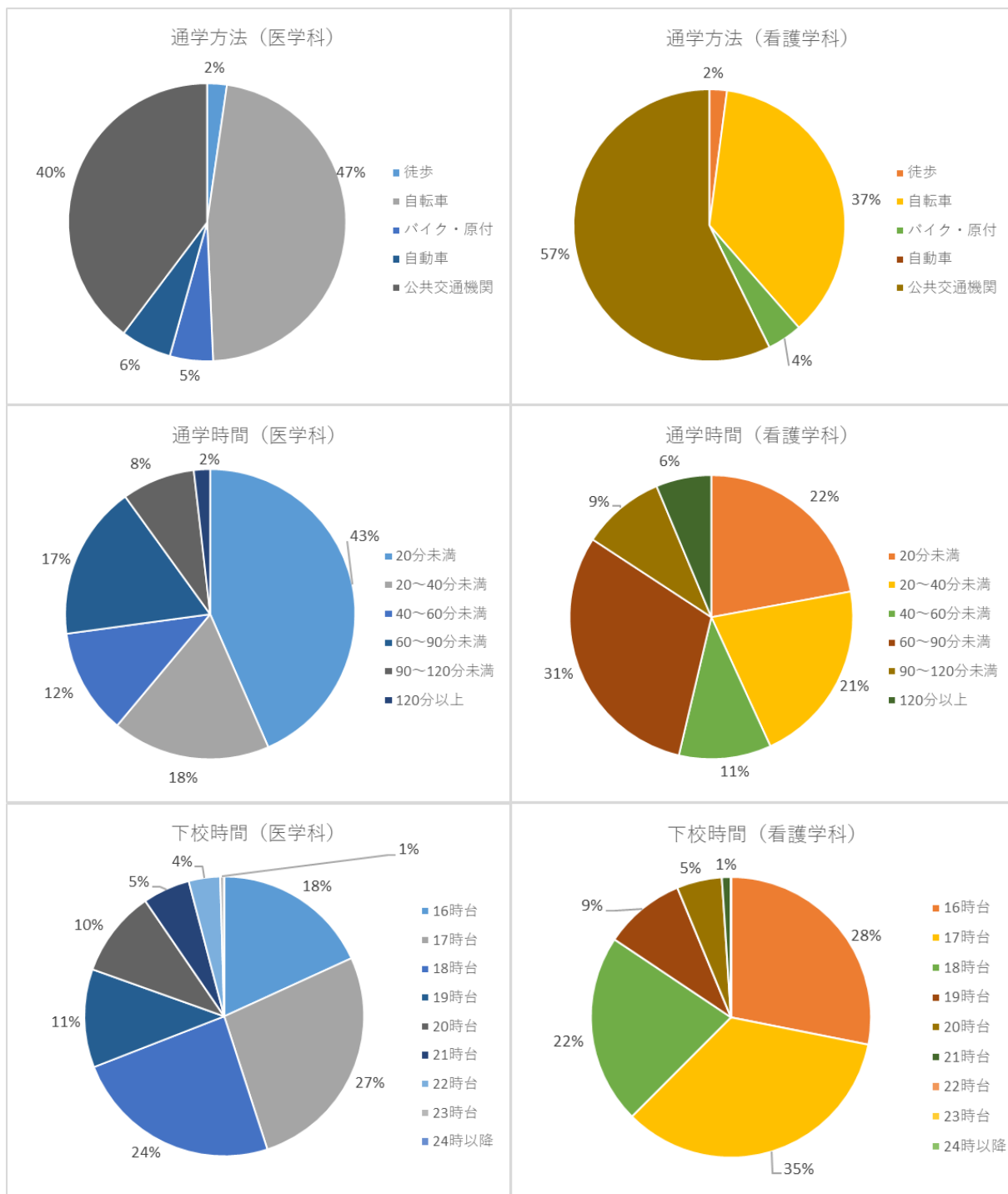


### ＜通学方法等＞

通学方法については、医学科では「自転車」次いで、「公共交通機関」が多く、看護学科では「公共交通機関」が最も多い。なお、通学時間については、医学科では「20 分未満」の学生が多く、看護学科では「60～90 分未満」が多い。

また、下校時間については、両学科ともに 20 時まで、ほとんどの学生が下校していることが読み取れる。

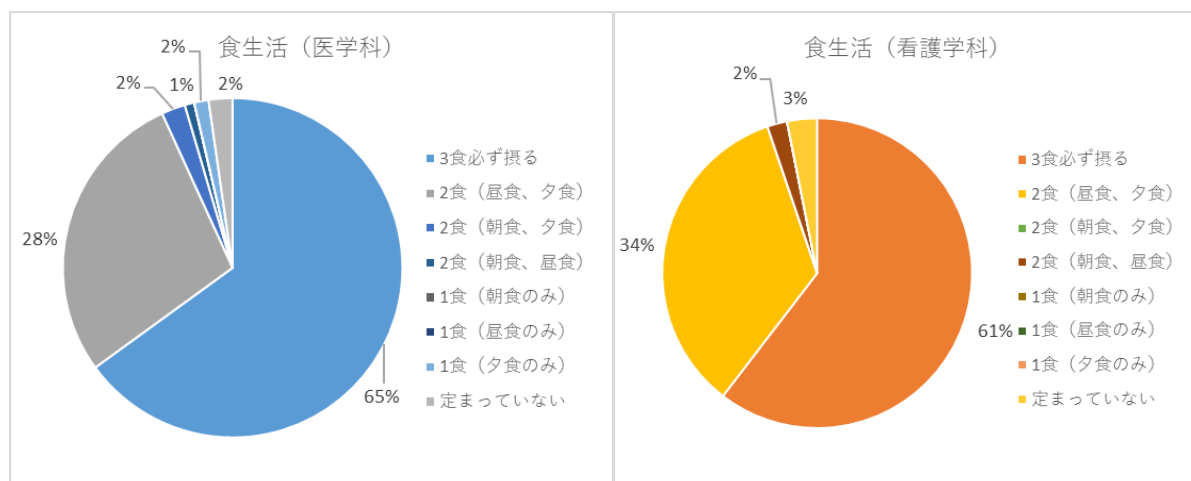
		医学科		看護学科		計	
通学方法	徒歩	5	2.3%	2	2.1%	7	2.2%
	自転車	103	47.0%	35	36.5%	138	43.8%
	バイク・原付	11	5.0%	4	4.2%	15	4.8%
	自動車	13	5.9%	0	0.0%	13	4.1%
	公共交通機関	87	39.7%	55	57.3%	142	45.1%
	計	219	100.0%	96	100.0%	315	100.0%
通学時間	20分未満	96	43.4%	21	22.1%	117	37.0%
	20～40分未満	39	17.6%	20	21.1%	59	18.7%
	40～60分未満	26	11.8%	10	10.5%	36	11.4%
	60～90分未満	38	17.2%	29	30.5%	67	21.2%
	90～120分未満	18	8.1%	9	9.5%	27	8.5%
	120分以上	4	1.8%	6	6.3%	10	3.2%
	計	221	100.0%	95	100.0%	316	100.0%
下校時間	16時台	40	18.2%	27	28.1%	67	21.2%
	17時台	59	26.8%	33	34.4%	92	29.1%
	18時台	53	24.1%	21	21.9%	74	23.4%
	19時台	25	11.4%	9	9.4%	34	10.8%
	20時台	22	10.0%	5	5.2%	27	8.5%
	21時台	12	5.5%	1	1.0%	13	4.1%
	22時台	8	3.6%	0	0.0%	8	2.5%
	23時台	1	0.5%	0	0.0%	1	0.3%
	24時以降	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計		220	100.0%	96	100.0%	316	100.0%



## <食事>

両学科とも約 6 割の学生が 3 食摂取している一方で、わずかではあるが食事の回数が定まっていない学生が一定数いるとの結果であった。

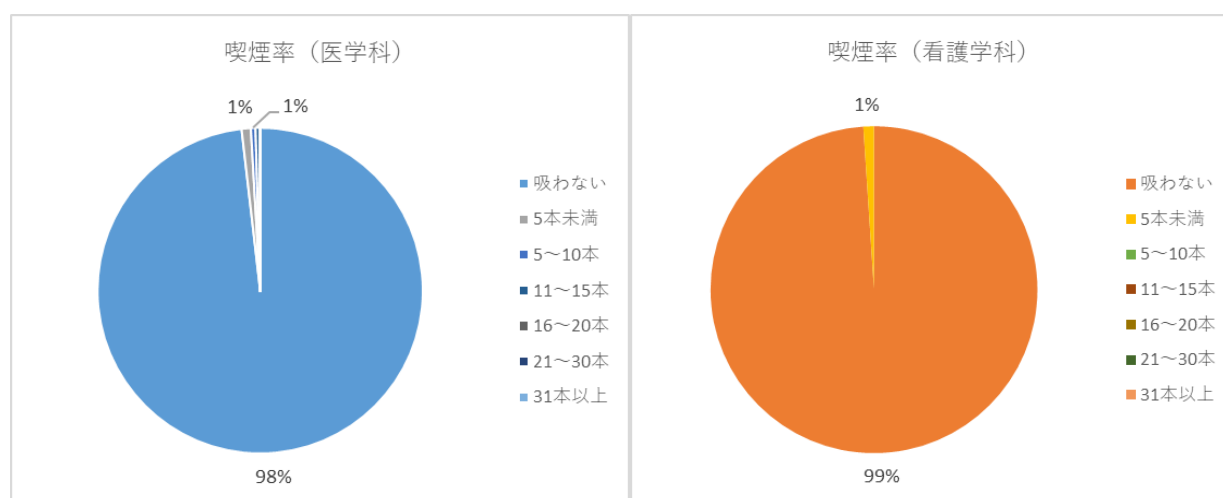
	医学科		看護学科		計	
3食必ず摂る	143	65.0%	58	60.4%	201	63.6%
2食（昼食、夕食）	62	28.2%	33	34.4%	95	30.1%
2食（朝食、夕食）	5	2.3%	0	0.0%	5	1.6%
2食（朝食、昼食）	2	0.9%	2	2.1%	4	1.3%
1食（朝食のみ）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1食（昼食のみ）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1食（夕食のみ）	3	1.4%	0	0.0%	3	0.9%
定まっていない	5	2.3%	3	3.1%	8	2.5%
計	220	100%	96	100.0%	316	100.0%



## <喫煙>

両学科とも概ね 100%の学生が喫煙していないとの結果であった。

	医学科		看護学科		計	
吸わない	214	98.2%	95	99.0%	309	98.4%
5本未満	2	0.9%	1	1.0%	3	1.0%
5～10本	1	0.5%	0	0.0%	1	0.3%
11～15本	1	0.5%	0	0.0%	1	0.3%
16～20本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
21～30本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
31本以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	218	100.0%	96	100.0%	314	100.0%

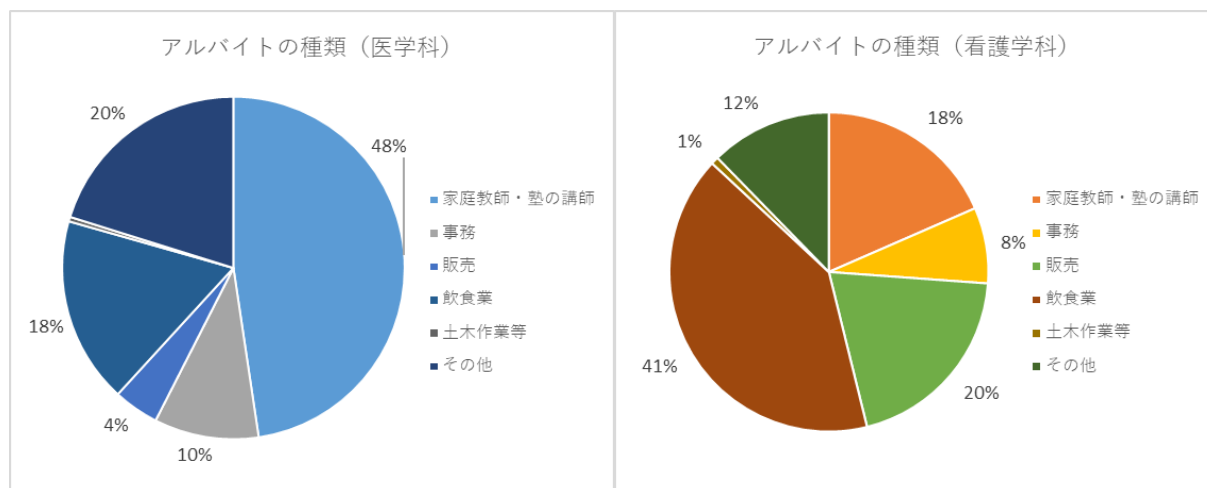


## <アルバイト>

アルバイトの職種は、医学科では「家庭教師・塾の講師」、看護学科では「飲食業」が最も多かった。1週間の労働時間については、医学科で「4～8 時間未満」、看護学科で「12～16 時間未満」が最も多かった。また、両学科ともアルバイトの目的としては、課外活動等費用が多数を占めていた。

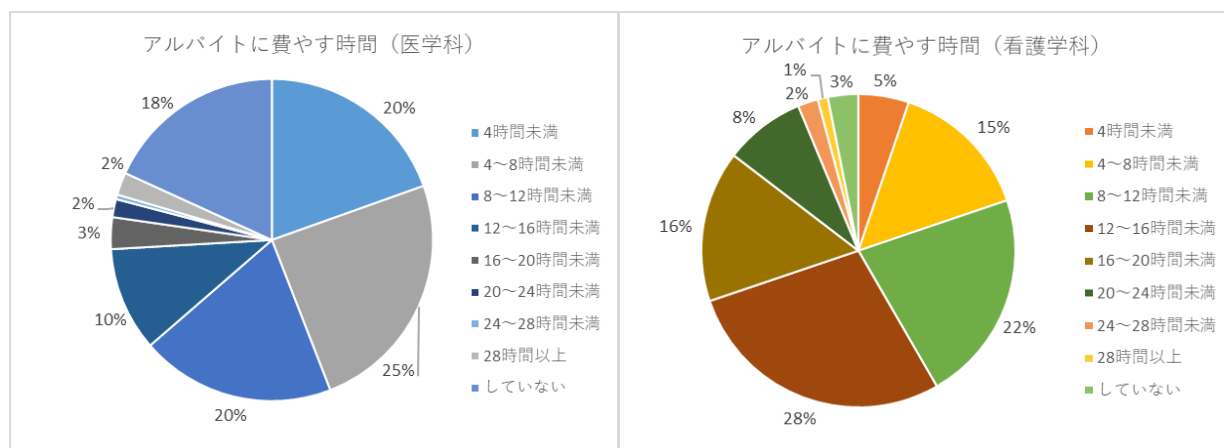
(アルバイトの種類) (複数回答)

	医学科		看護学科		計	
家庭教師・塾の講師	111	47.6%	24	18.5%	135	37.2%
事務	23	9.9%	10	7.7%	33	9.1%
販売	10	4.3%	26	20.0%	36	9.9%
飲食業	41	17.6%	53	40.8%	94	25.9%
土木作業等	1	0.4%	1	0.8%	2	0.6%
その他	47	20.2%	16	12.3%	63	17.4%
計	233	100.0%	130	100.0%	363	100.0%



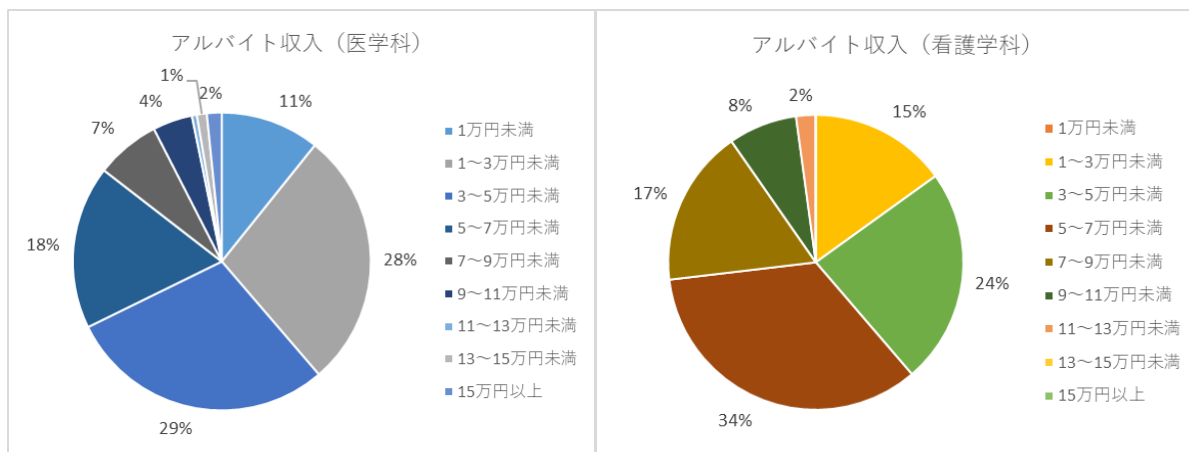
(1 週間の就業時間)

	医学科		看護学科		計	
4時間未満	43	19.5%	5	5.2%	48	15.2%
4～8時間未満	54	24.5%	14	14.6%	68	21.5%
8～12時間未満	43	19.5%	21	21.9%	64	20.3%
12～16時間未満	23	10.5%	27	28.1%	50	15.8%
16～20時間未満	7	3.2%	15	15.6%	22	7.0%
20～24時間未満	4	1.8%	8	8.3%	12	3.8%
24～28時間未満	1	0.5%	2	2.1%	3	0.9%
28時間以上	5	2.3%	1	1.0%	6	1.9%
していない	40	18.2%	3	3.1%	43	13.6%
計	220	100.0%	96	100.0%	316	100.0%



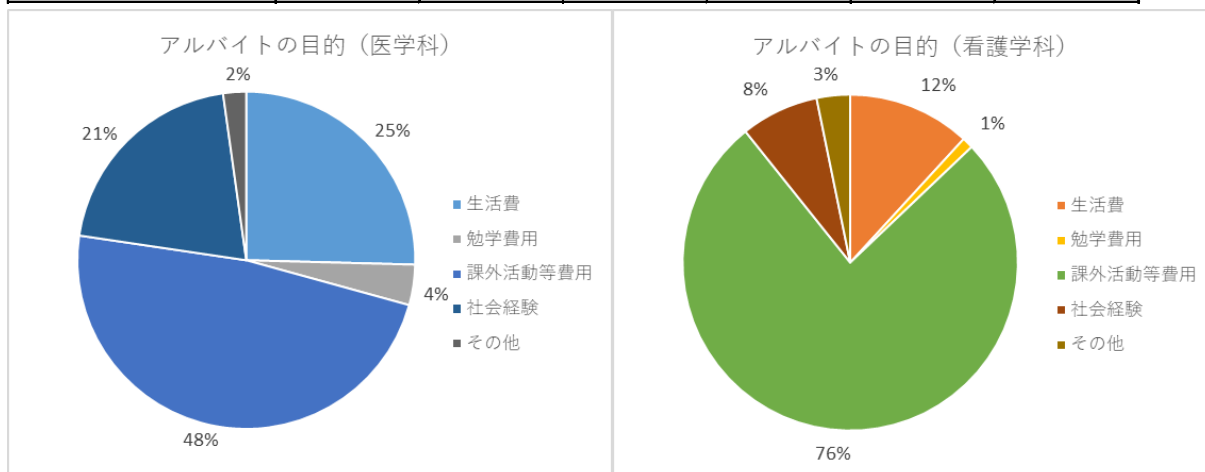
(1 ヶ月の収入)

	医学科		看護学科		計	
1万円未満	20	10.8%	0	0.0%	20	7.2%
1～3万円未満	52	28.0%	14	15.1%	66	23.7%
3～5万円未満	54	29.0%	22	23.7%	76	27.2%
5～7万円未満	33	17.7%	32	34.4%	65	23.3%
7～9万円未満	13	7.0%	16	17.2%	29	10.4%
9～11万円未満	8	4.3%	7	7.5%	15	5.4%
11～13万円未満	1	0.5%	2	2.2%	3	1.1%
13～15万円未満	2	1.1%	0	0.0%	2	0.7%
15万円以上	3	1.6%	0	0.0%	3	1.1%
計	186	100.0%	93	100.0%	279	100.0%



（アルバイトの目的）

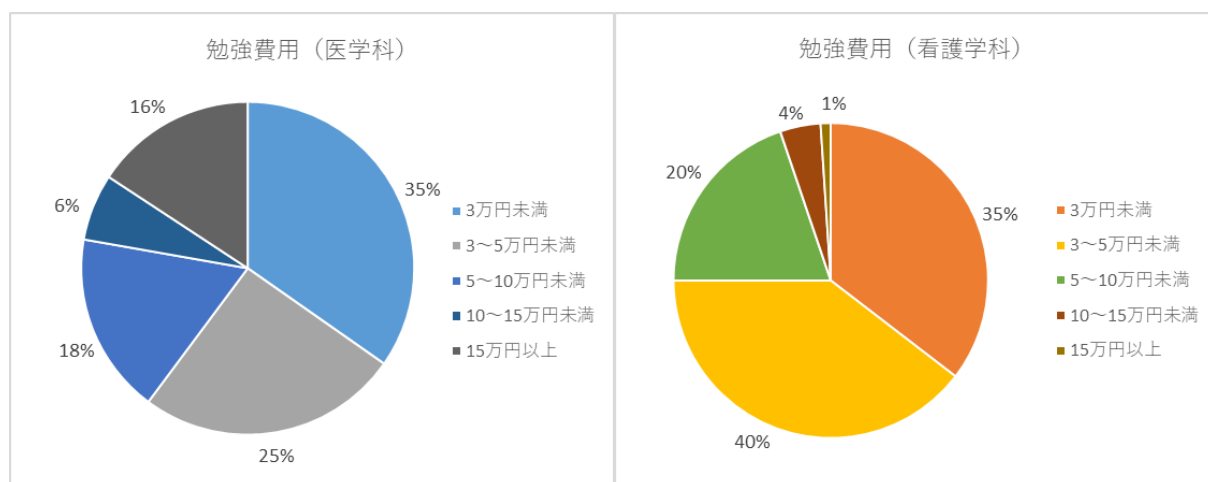
	医学科		看護学科		計	
生活費	46	25.4%	11	11.8%	57	20.8%
勉学費用	7	3.9%	1	1.1%	8	2.9%
課外活動等費用	87	48.1%	71	76.3%	158	57.7%
社会経験	37	20.4%	7	7.5%	44	16.1%
その他	4	2.2%	3	3.2%	7	2.6%
計	181	100.0%	93	100.0%	274	100.0%



## <勉強費用>

昨年度から1年間で教科書・参考書等の勉強にかかった費用において、医学科では「3万円未満」、看護学科では「3～5万円未満」の回答が最も多かった。

	医学科		看護学科		計	
3万円未満	75	34.7%	34	35.4%	109	34.9%
3～5万円未満	55	25.5%	38	39.6%	93	29.8%
5～10万円未満	38	17.6%	19	19.8%	57	18.3%
10～15万円未満	14	6.5%	4	4.2%	18	5.8%
15万円以上	34	15.7%	1	1.0%	35	11.2%
計	216	100.0%	96	100.0%	312	100.0%

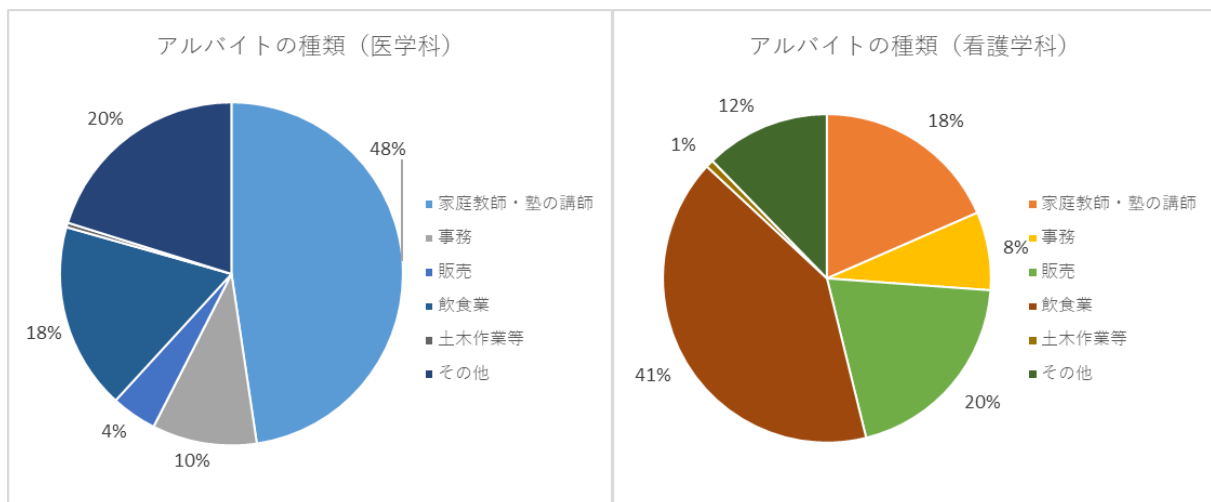


## <授業以外のパソコン利用率・SNS>

医学科では「ほぼ毎日利用」を選択した学生が最も多く、パソコンの利用率は比較的高いが、看護学科では「ほとんど利用しない」を選択した学生が約5割を占め、医学科に比べるとパソコンの利用率は低い傾向にある。また、利用しているSNSの種類に関する設問では、両学科ともに「X（旧 Twitter）」と「Instagram」を利用しているとの回答が最も多かった。

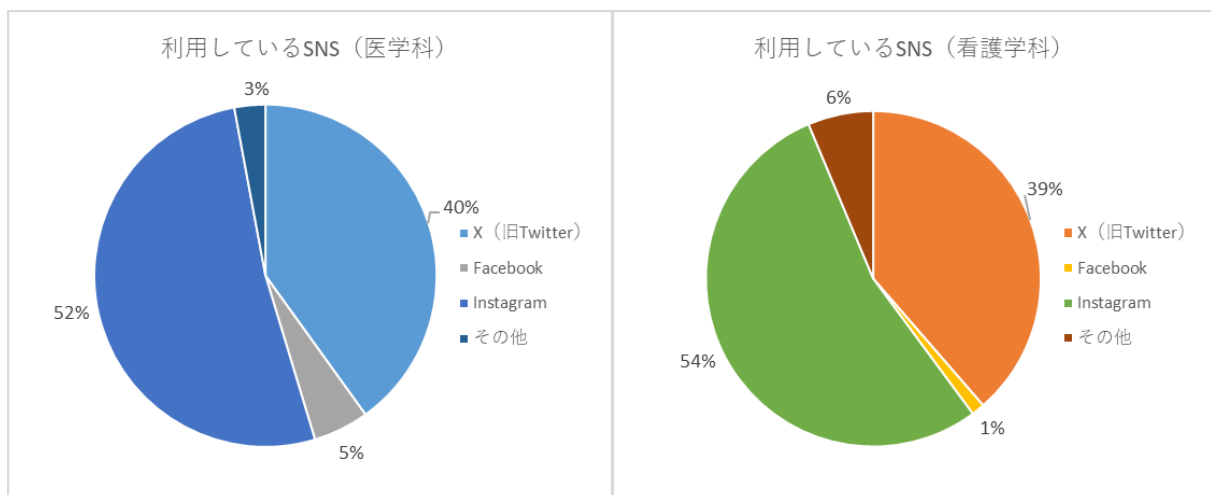
（パソコン利用率）

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日利用	89	41.2%	13	13.5%	102	32.7%
週2～3回利用	41	19.0%	20	20.8%	61	19.6%
週1回程度は利用	30	13.9%	12	12.5%	42	13.5%
ほとんど利用しない	56	25.9%	51	53.1%	107	34.3%
計	216	100.0%	96	100.0%	312	100.0%



(利用している SNS) (複数回答)

	医学科		看護学科		計	
X (旧Twitter)	137	40.1%	61	38.6%	198	39.6%
Facebook	18	5.3%	2	1.3%	20	4.0%
Instagram	177	51.8%	85	53.8%	262	52.4%
その他	10	2.9%	10	6.3%	20	4.0%
計	342	100.0%	158	100.0%	500	100.0%

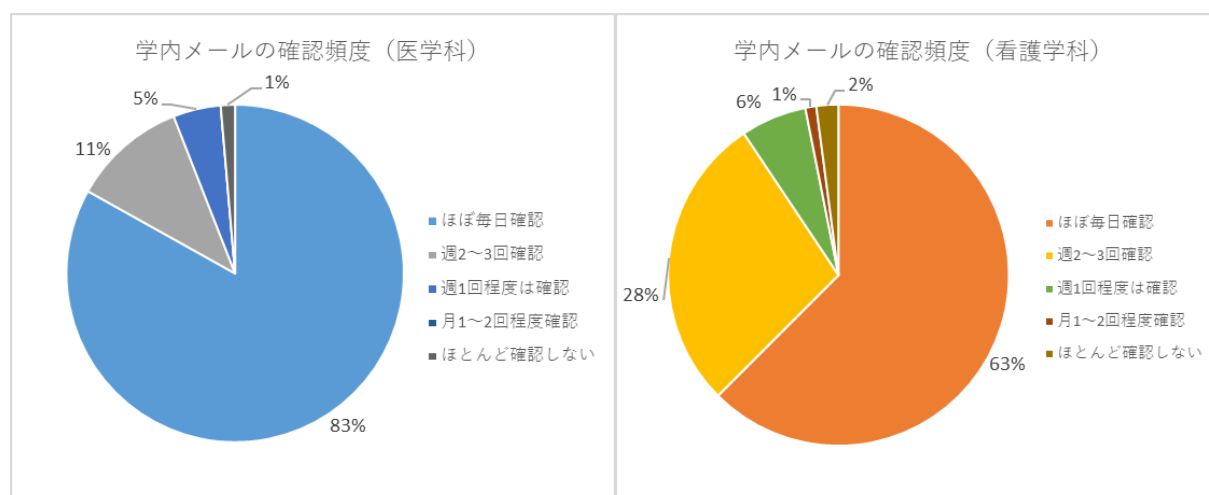


## <学内情報の確認頻度>

学内メールの確認頻度について、医学科では約 8 割が、看護学科では約 6 割が「ほぼ毎日」と回答した。また、掲示板の確認頻度について、医学科では約 8 割が、看護学科では約 9 割が「ほとんど確認しない」と回答した。

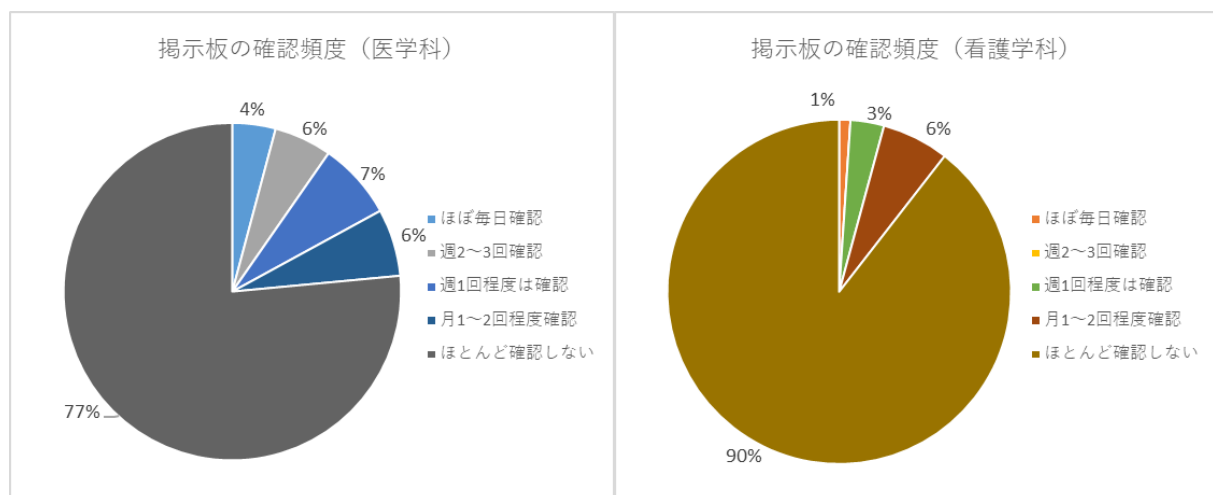
### (学内メール)

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日確認	182	83.1%	60	62.5%	242	76.8%
週2～3回確認	24	11.0%	27	28.1%	51	16.2%
週1回程度は確認	10	4.6%	6	6.3%	16	5.1%
月1～2回程度確認	0	0.0%	1	1.0%	1	0.3%
ほとんど確認しない	3	1.4%	2	2.1%	5	1.6%
計	219	100.0%	96	100.0%	315	100.0%



### (掲示板)

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日確認	9	4.1%	1	1.1%	10	3.2%
週2～3回確認	12	5.5%	0	0.0%	12	3.8%
週1回程度は確認	16	7.4%	3	3.2%	19	6.1%
月1～2回程度確認	14	6.5%	6	6.3%	20	6.4%
ほとんど確認しない	166	76.5%	85	89.5%	251	80.4%
計	217	100.0%	95	100.0%	312	100.0%



### ＜福利棟の利用状況＞

食堂については、医学科では約 6 割、看護学科で約 2 割の学生がほぼ毎日利用している。

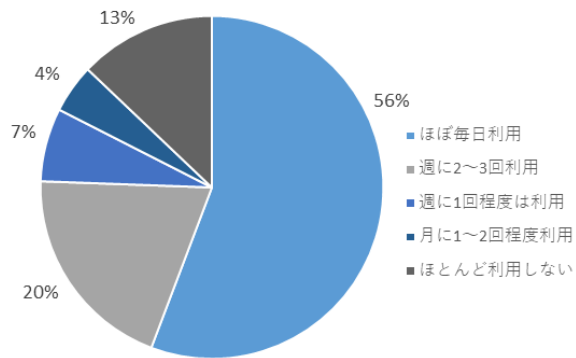
購買部については、約 4～5 割の学生が週に 1 回程度利用している。

書籍部については、両学科の大半の学生がほとんど利用しないと回答した。

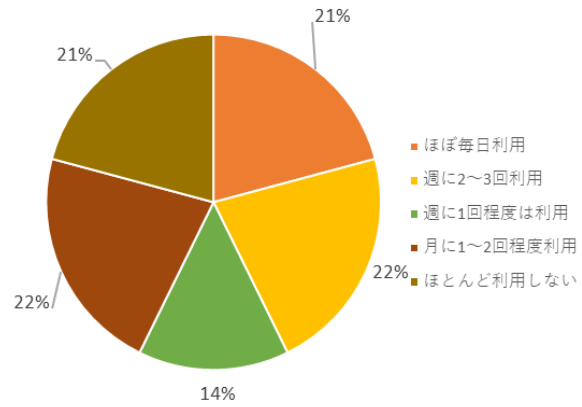
### （生協利用頻度）

		医学科		看護学科		計	
食堂	ほぼ毎日利用	121	55.8%	20	20.8%	141	45.0%
	週に2～3回利用	43	19.8%	21	21.9%	64	20.4%
	週に1回程度は利用	15	6.9%	14	14.6%	29	9.3%
	月に1～2回程度利用	10	4.6%	21	21.9%	31	9.9%
	ほとんど利用しない	28	12.9%	20	20.8%	48	15.3%
	計	217	100.0%	96	100.0%	313	100.0%
購買部	ほぼ毎日利用	43	19.7%	9	9.5%	52	16.6%
	週に2～3回利用	73	33.5%	34	35.8%	107	34.2%
	週に1回程度は利用	82	37.6%	46	48.4%	128	40.9%
	月に1～2回程度利用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	ほとんど利用しない	20	9.2%	6	6.3%	26	8.3%
	計	218	100.0%	95	100.0%	313	100.0%
書籍部	ほぼ毎日利用	2	0.9%	0	0.0%	2	0.6%
	週に2～3回利用	6	2.8%	2	2.1%	8	2.6%
	週に1回程度は利用	4	1.8%	1	1.0%	5	1.6%
	月に1～2回程度利用	31	14.3%	8	8.3%	39	12.5%
	ほとんど利用しない	174	80.2%	85	88.5%	259	82.7%
	計	217	100.0%	96	100.0%	313	100.0%

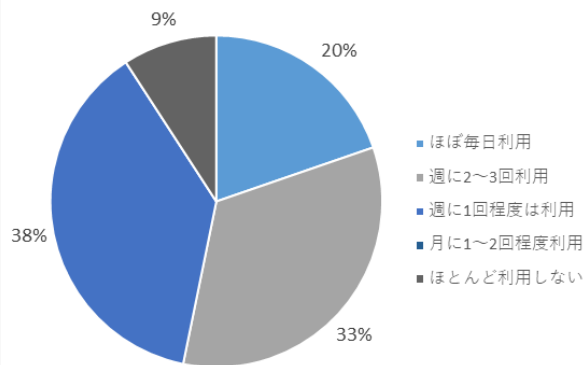
食堂の利用頻度（医学科）



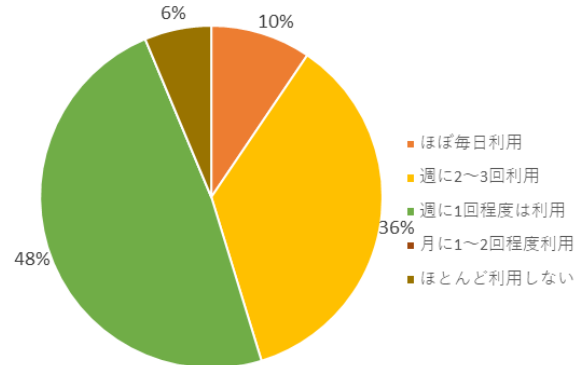
食堂の利用頻度（看護学科）



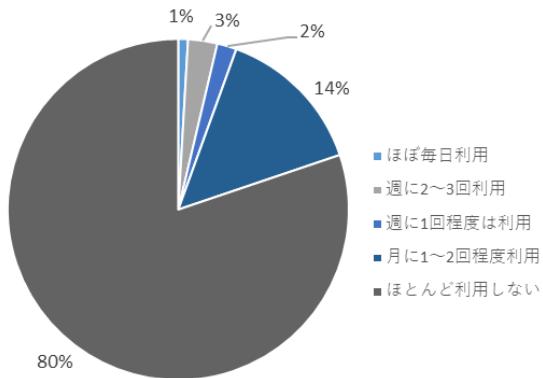
購買部の利用頻度（医学科）



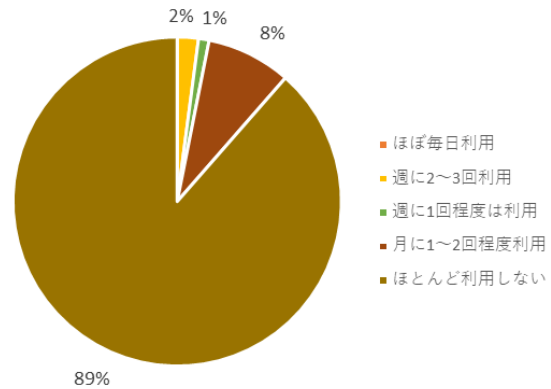
購買部の利用頻度（看護学科）



書籍部の利用頻度（医学科）



書籍部の利用頻度（看護学科）

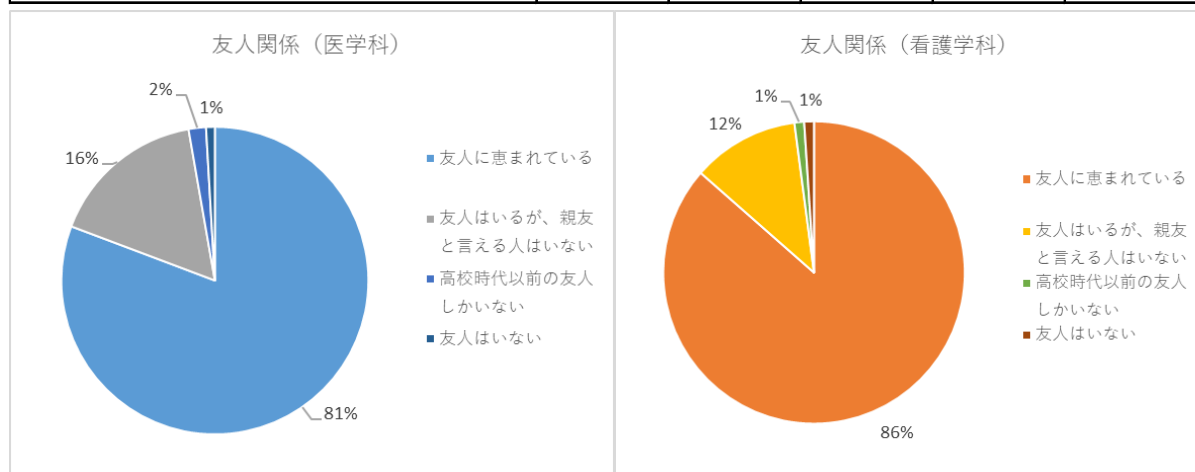


### Ⅲ. 交友関係について

両学科ともに約 8 割の学生が「友人に恵まれている」と回答しており、プライベートなことについて相談しやすい人は、「友人、恋人」が最も多く、次いで「家族」との回答が多かった。

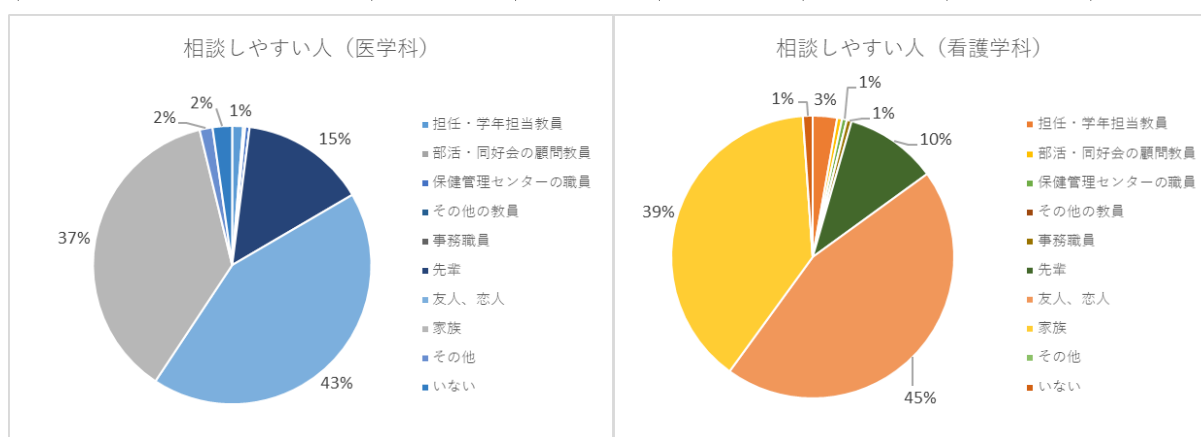
(友人の有無)

	医学科		看護学科		計	
友人に恵まれている	176	80.7%	83	86.5%	259	82.5%
友人はいるが、親友と言える人はいない	36	16.5%	11	11.5%	47	15.0%
高校時代以前の友人しかいない	4	1.8%	1	1.0%	5	1.6%
友人はいない	2	0.9%	1	1.0%	3	1.0%
計	218	100.0%	96	100.0%	314	100.0%



(相談しやすい人 (複数回答))

	医学科		看護学科		計	
担任・学年担当教員	5	1.3%	5	2.8%	10	1.7%
部活・同好会の顧問教員	1	0.3%	1	0.6%	2	0.3%
保健管理センターの職員	2	0.5%	1	0.6%	3	0.5%
その他の教員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
事務職員	0	0.0%	1	0.6%	1	0.2%
先輩	58	14.6%	19	10.6%	77	13.3%
友人、恋人	170	42.7%	81	45.0%	251	43.4%
家族	147	36.9%	70	38.9%	217	37.5%
その他	6	1.5%	0	0.0%	6	1.0%
いない	9	2.3%	2	1.1%	11	1.9%
計	398	100.0%	180	100.0%	578	100.0%

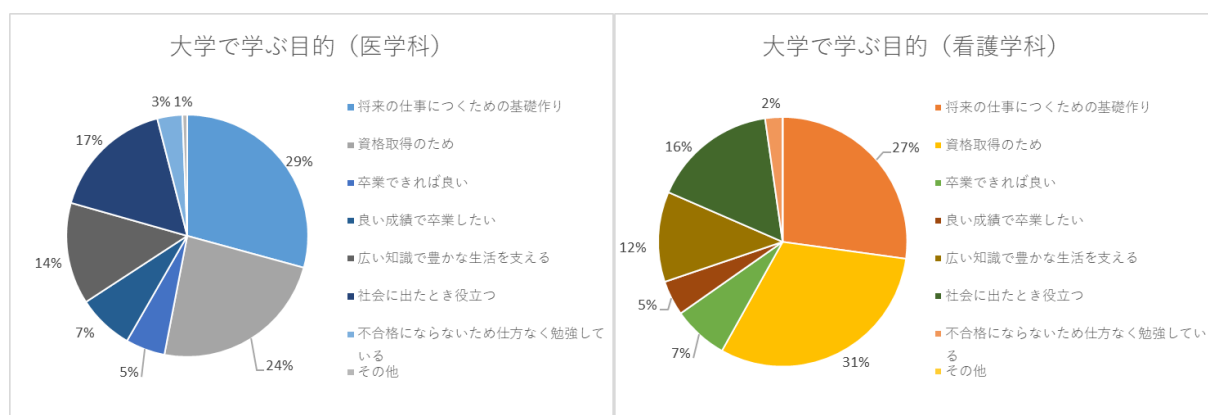


## Ⅳ. 学業について

### ＜大学で学ぶ目的＞（複数回答）

大学で学ぶ目的を問う設問では、両学科とも「将来の仕事につくための基礎作り」「資格取得のため」が多かった。卒業後を見据え、明確な目的を持って学業に取り組む学生が多いようであった。

	医学科		看護学科		計	
将来の仕事につくための基礎作り	183	29.2%	72	27.2%	255	28.6%
資格取得のため	149	23.8%	82	30.9%	231	25.9%
卒業できれば良い	33	5.3%	19	7.2%	52	5.8%
良い成績で卒業したい	47	7.5%	12	4.5%	59	6.6%
広い知識で豊かな生活を支える	85	13.6%	31	11.7%	116	13.0%
社会に出たとき役立つ	104	16.6%	43	16.2%	147	16.5%
不合格にならないため仕方なく勉強している	21	3.4%	6	2.3%	27	3.0%
その他	4	0.6%	0	0.0%	4	0.4%
計	626	100.0%	265	100.0%	891	100.0%



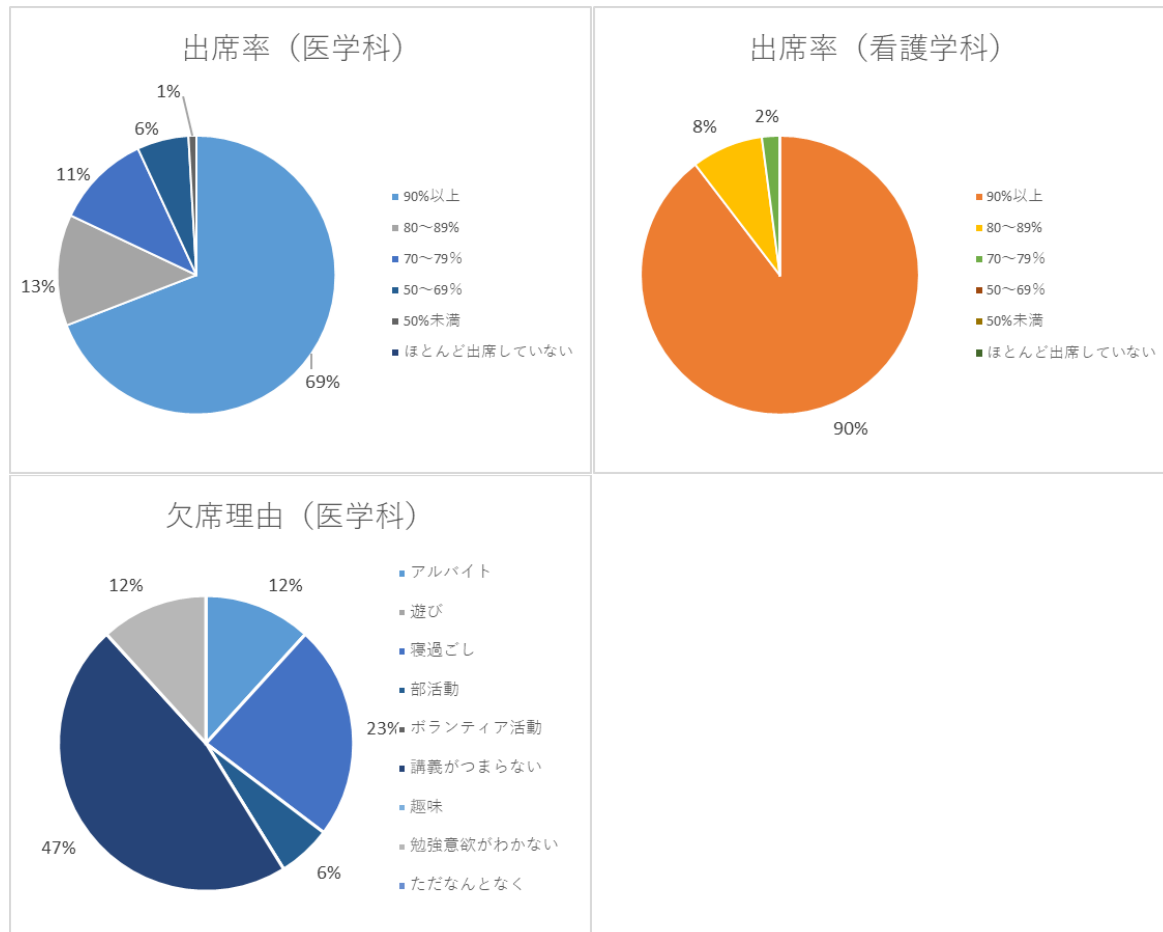
### ＜授業の欠席について＞

医学科では約7割、看護学科では約9割の学生が90%以上授業に出席していると回答し、看護学科に比べて医学科の方が授業の欠席率は高いことがうかがえる。欠席理由（医学科のみ）は、「講義がつまらない」の割合が高くなっている。また、自らの欠席についてどう考えるかという問いに対しては、両学科とも「うしろめたい」「自分の責任」の合計が7割を超えた。欠席した授業のキャッチアップ方法としては、両学科とも「友人に聞く」との回答が最も多いが、「教員に聞く」の回答が非常に少ない。また、医学科では看護学科よりも「教科書等で自主学習」を行う割合が高かった。

		医学科		看護学科		計	
出席率	90%以上	150	69.1%	86	89.6%	236	75.4%
	80～89%	28	12.9%	8	8.3%	36	11.5%
	70～79%	24	11.1%	2	2.1%	26	8.3%
	50～69%	13	6.0%	0	0.0%	13	4.2%
	50%未満	2	0.9%	0	0.0%	2	0.6%
	ほとんど出席していない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	217	100.0%	96	100.0%	313	100.0%
欠席理由	アルバイト	2	11.8%			2	11.8%
	遊び	0	0.0%			0	0.0%
	寝過ごし	4	23.5%			4	23.5%
	部活動	1	5.9%			1	5.9%
	ボランティア活動	0	0.0%			0	0.0%
	講義がつまらない	8	47.1%			8	47.1%
	趣味	0	0.0%			0	0.0%
	勉強意欲がわからない	2	11.8%			2	11.8%
	ただなんとなく	0	0.0%			0	0.0%
	計	17	100.0%			17	100.0%

※欠席理由における看護学科の回答はなかった。

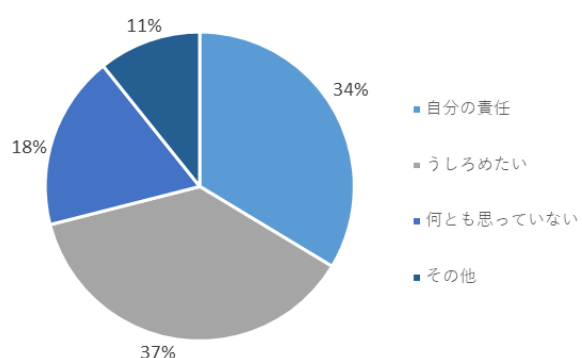
(出席率・欠席理由)



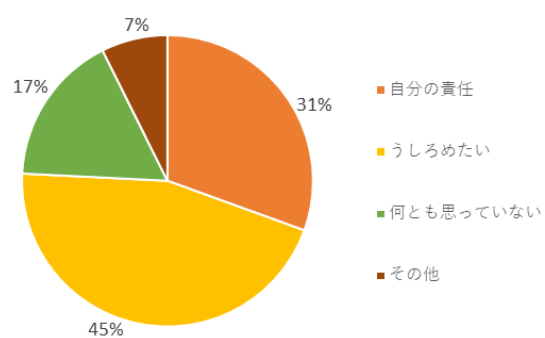
(やむを得ない欠席についての意識・キャッチアップ方法)

		医学科		看護学科		計	
欠席について	自分の責任	72	33.6%	29	30.5%	101	32.7%
	うしろめたい	80	37.4%	43	45.3%	123	39.8%
	何とも思っていない	39	18.2%	16	16.8%	55	17.8%
	その他	23	10.7%	7	7.4%	30	9.7%
	計	214	100.0%	95	100.0%	309	100.0%
キャッチアップ	友人に聞いた	115	56.1%	85	90.4%	200	66.9%
	教員に聞いた	5	2.4%	2	2.1%	7	2.3%
	プリントを読んだ	29	14.1%	6	6.4%	35	11.7%
	教科書等で自主学習	52	25.4%	1	1.1%	53	17.7%
	何もしなかった	4	2.0%	0	0.0%	4	1.3%
	計	205	100.0%	94	100.0%	299	100.0%

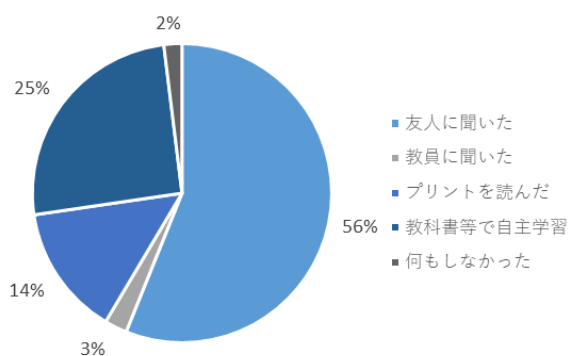
欠席についての所感（医学科）



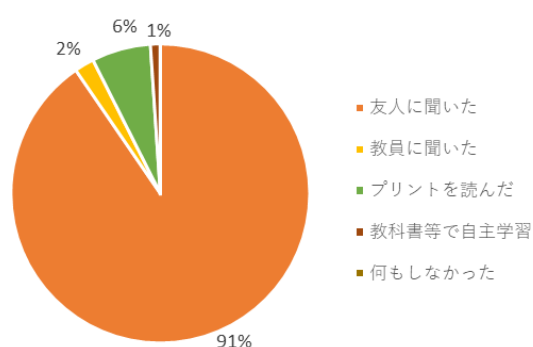
欠席についての所感（看護学科）



キャッチアップ（医学科）



キャッチアップ（看護学科）



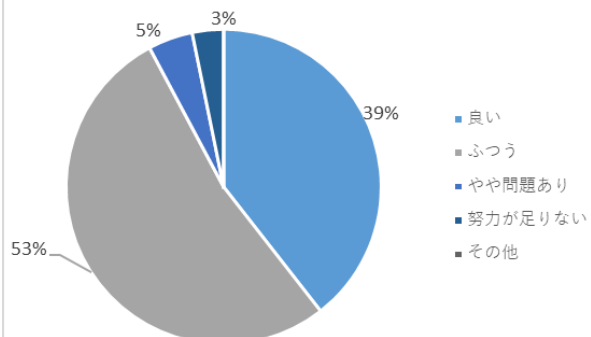
## <学習態度について>

自らの学習態度について自己評価を行う設問では、「ふつう」が医学科では約5割、看護学科では約7割となっている。次いで「良い」が医学科では約4割、看護学科では約3割を占めている。一方で、現在の学習態度で将来の希望が実現出来そうかどうかについては、両学科の6～7割が「はい」と回答した。

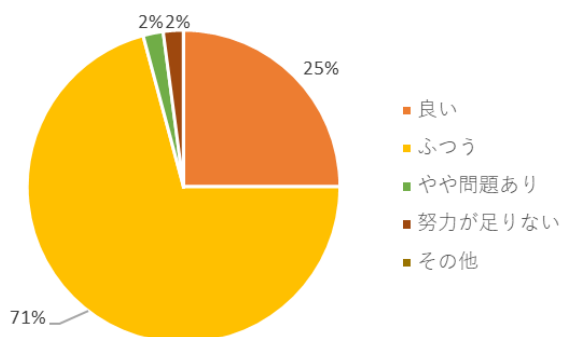
### (学習態度の自己評価・将来の希望実現)

		医学科		看護学科		計	
学習態度	良い	86	39.4%	24	25.0%	110	35.0%
	ふつう	115	52.8%	68	70.8%	183	58.3%
	やや問題あり	10	4.6%	2	2.1%	12	3.8%
	努力が足りない	7	3.2%	2	2.1%	9	2.9%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	218	100.0%	96	100.0%	314	100.0%
希望実現	はい	139	64.1%	70	72.9%	209	66.8%
	いいえ	14	6.5%	3	3.1%	17	5.4%
	わからない	64	29.5%	23	24.0%	87	27.8%
	計	217	100.0%	96	100.0%	313	100.0%

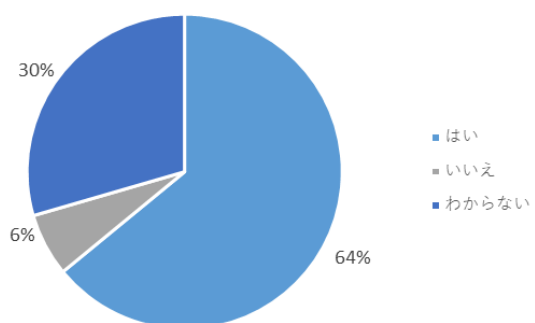
学習態度（医学科）



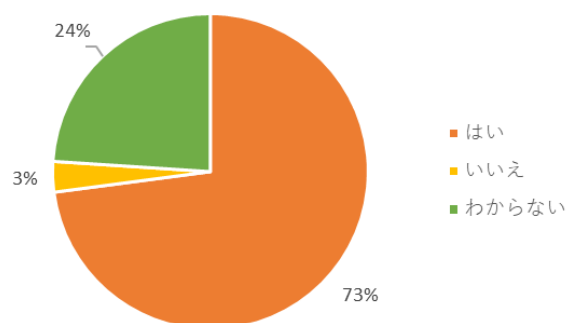
学習態度（看護学科）



将来の希望の実現（医学科）



将来の希望の実現（看護学科）



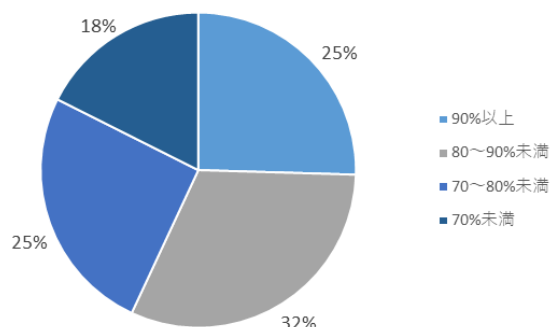
## ＜授業内容の理解＞

授業内容については、両学科とも大半の学生は理解できているようであるが、理解度は70%未満であると回答した学生が医学科では約2割、看護学科においてもわずかながら存在している。授業内容が理解できない場合には、「友人や先輩に聞く」「自分で勉強する」を合わせると両学科とも約8割を占めた。教員に質問しない理由としては、「聞きに行こうと思わない」が多く挙げられた。

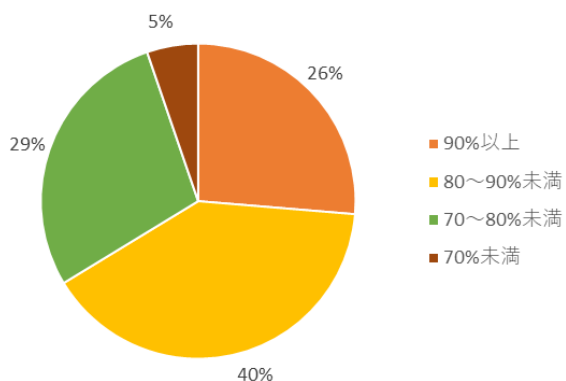
### （授業内容の理解等）

		医学科		看護学科		計	
理解 できる 割合	90%以上	55	25.5%	25	26.3%	80	25.7%
	80～90%未満	68	31.5%	38	40.0%	106	34.1%
	70～80%未満	55	25.5%	27	28.4%	82	26.4%
	70%未満	38	17.6%	5	5.3%	43	13.8%
	計	216	100.0%	95	100.0%	311	100.0%
理解 できない 場合	授業中に聞く	22	10.1%	2	2.1%	24	7.7%
	授業後に聞く	20	9.2%	10	10.6%	30	9.6%
	友人や先輩に聞く	85	39.0%	55	58.5%	140	44.9%
	自分で勉強する	91	41.7%	27	28.7%	118	37.8%
	計	218	100.0%	94	100.0%	312	100.0%
質問 しない 理由	忙しそう	53	28.5%	19	21.8%	72	26.4%
	質問しにくい雰囲気	46	24.7%	29	33.3%	75	27.5%
	質問すると怒られそう	0	0.0%	1	1.1%	1	0.4%
	連絡方法がわからない	3	1.6%	6	6.9%	9	3.3%
	聞きに行こうと思わない	84	45.2%	32	36.8%	116	42.5%
	計	186	100.0%	87	100.0%	273	100.0%

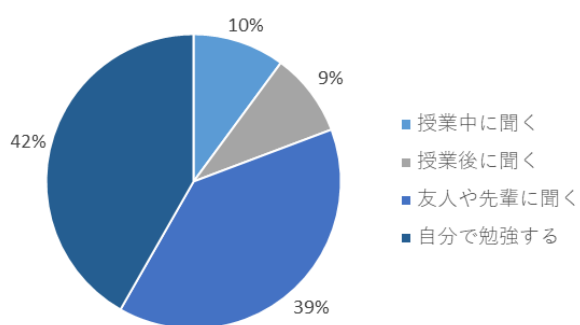
理解できる割合（医学科）



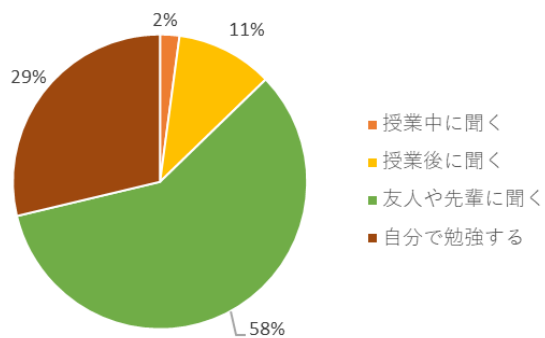
理解できる割合（看護学科）



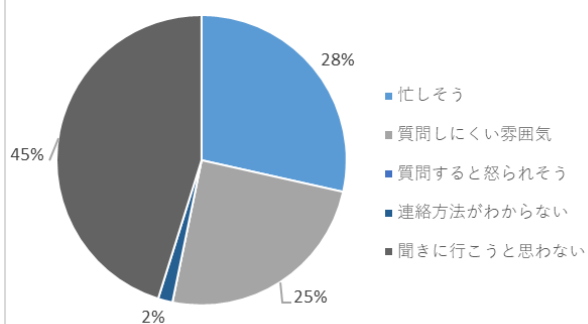
理解できない場合（医学科）



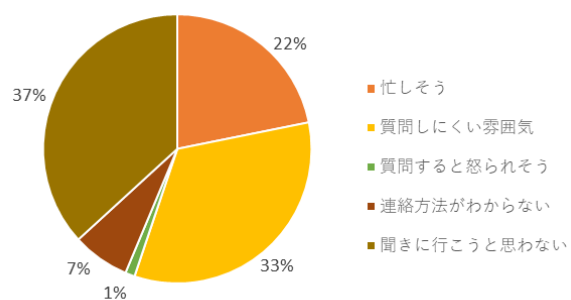
理解できない場合（看護学科）



教員に質問しない理由（医学科）



教員に質問しない理由（看護学科）



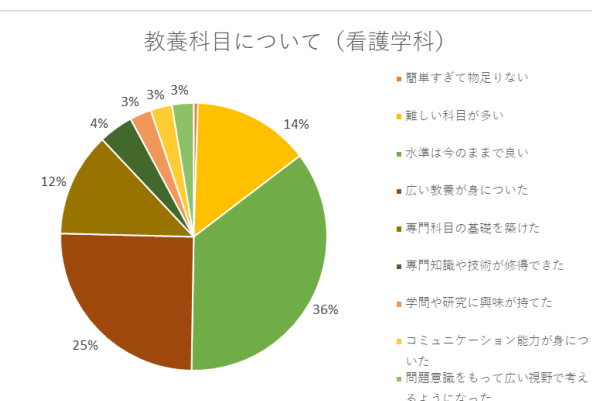
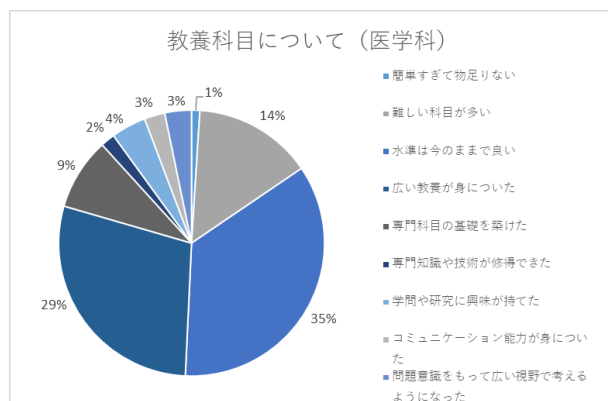
## ＜授業の水準＞

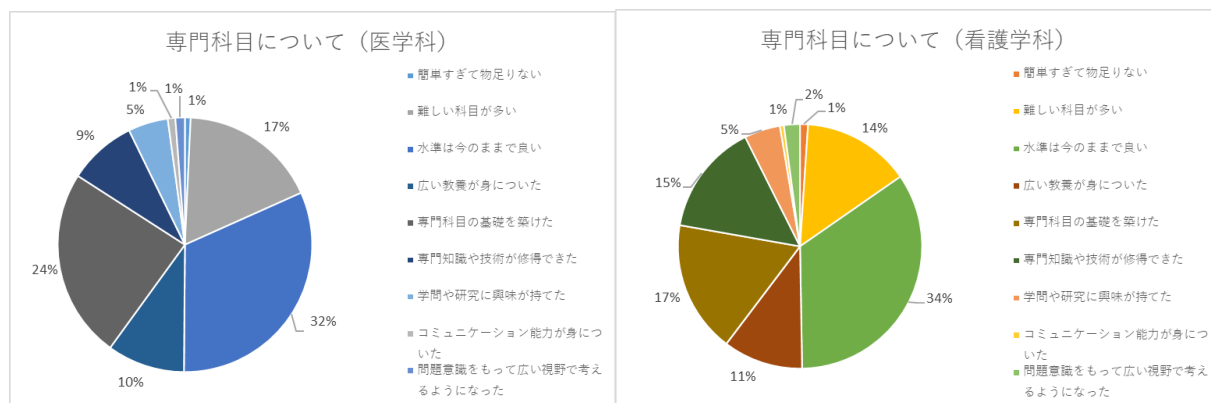
昨年度履修した教養科目について、「水準は今のままで良い」が両学科ともに約 4 割であり、次いで「難しい科目が多い」が約 1 割であった。昨年度履修した専門科目についても、両学科とも「水準は今のままで良い」が最も多かった。

昨年度履修した科目で得られたものについては、教養科目では、両学科とも、「広い教養が身についた」が最も多く、専門科目では、「専門科目の基礎を築けた」の回答が最も多かった。

(昨年度履修した科目について) (複数回答)

		医学科		看護学科		計	
教養	簡単すぎて物足りない	4	1.0%	1	0.5%	5	0.8%
	難しい科目が多い	58	14.5%	27	14.1%	85	14.4%
	水準は今のままで良い	141	35.3%	68	35.6%	209	35.4%
	広い教養が身についた	115	28.8%	48	25.1%	163	27.6%
	専門科目の基礎を築けた	35	8.8%	24	12.6%	59	10.0%
	専門知識や技術が修得できた	7	1.8%	8	4.2%	15	2.5%
	学問や研究に興味を持てた	17	4.3%	5	2.6%	22	3.7%
	コミュニケーション能力が身についた	10	2.5%	5	2.6%	15	2.5%
	問題意識をもって広い視野で考えるようになった	13	3.3%	5	2.6%	18	3.0%
	計	400	100.0%	191	100.0%	591	100.0%
専門	簡単すぎて物足りない	3	0.7%	2	1.1%	5	0.8%
	難しい科目が多い	73	17.6%	27	14.3%	100	16.6%
	水準は今のままで良い	132	31.8%	65	34.4%	197	32.6%
	広い教養が身についた	41	9.9%	20	10.6%	61	10.1%
	専門科目の基礎を築けた	100	24.1%	33	17.5%	133	22.0%
	専門知識や技術が修得できた	36	8.7%	28	14.8%	64	10.6%
	学問や研究に興味を持てた	21	5.1%	9	4.8%	30	5.0%
	コミュニケーション能力が身についた	4	1.0%	1	0.5%	5	0.8%
	問題意識をもって広い視野で考えるようになった	5	1.2%	4	2.1%	9	1.5%
	計	415	100.0%	189	100.0%	604	100.0%





## <自己学習>

自己学習の程度については、医学科では「復習のみ」、看護学科では「課題が出た時のみ」の割合が高く、1日の自主学習時間では1時間以上勉強している割合が医学科の方で約6割、看護学科で約3割となった。なお、試験期間の1日の学習時間が「3時間以上」の割合は医学科が約9割、看護学科が約8割であった。

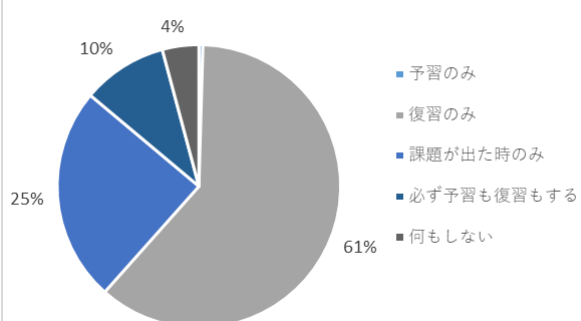
自己学習のために使用する場所については、「自宅」と回答した学生が医学科で4割、看護学科で6割であり、「附属図書館」と回答した学生は医学科で4割、看護学科では約2割と、看護学科の学生は比較的自宅で学習する割合が高く、附属図書館の利用率はやや低いようである。

また、調べ物の情報源について、両学科とも「インターネット」の回答が最も多かった。さらに、1日のレポート作成時間を問う設問では、両学科とも「1～2時間」の回答が最も多かった。

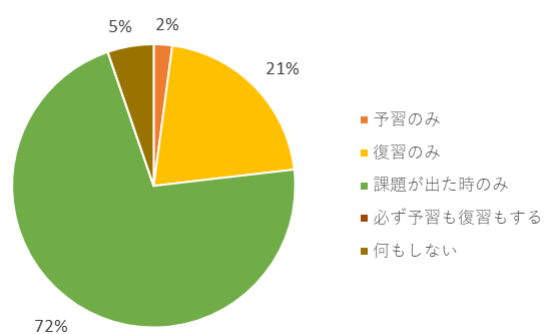
(自己学習の程度・場所等)

		医学科		看護学科		計	
自己学習 程度	予習のみ	1	0.5%	2	2.1%	3	1.0%
	復習のみ	132	61.1%	20	21.1%	152	48.9%
	課題が出た時のみ	53	24.5%	68	71.6%	121	38.9%
	必ず予習も復習もする	21	9.7%	0	0.0%	21	6.8%
	何もしない	9	4.2%	5	5.3%	14	4.5%
	計	216	100.0%	95	100.0%	311	100.0%
自己学習 場所	自宅	86	40.0%	57	60.0%	143	46.1%
	附属図書館	86	40.0%	20	21.1%	106	34.2%
	附属図書館以外の学内施設	36	16.7%	14	14.7%	50	16.1%
	その他	7	3.3%	4	4.2%	11	3.5%
	計	215	100.0%	95	100.0%	310	100.0%
調べ物 情報源	教科書・参考書	73	33.6%	18	19.1%	91	29.3%
	インターネット	134	61.8%	74	78.7%	208	66.9%
	教員	2	0.9%	0	0.0%	2	0.6%
	友人・先輩	8	3.7%	2	2.1%	10	3.2%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	217	100.0%	94	100.0%	311	100.0%

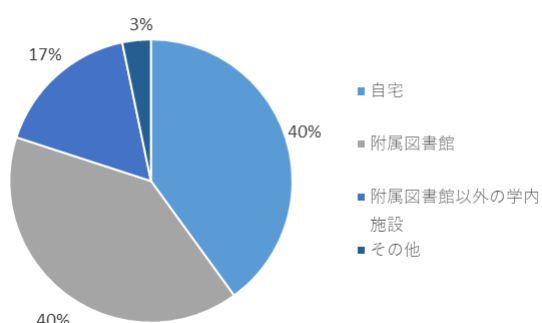
自己学習の程度（医学科）



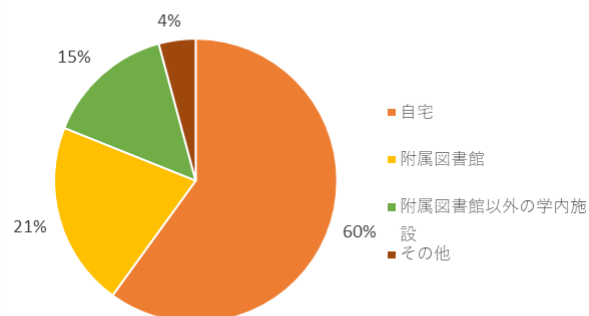
自己学習の程度（看護学科）

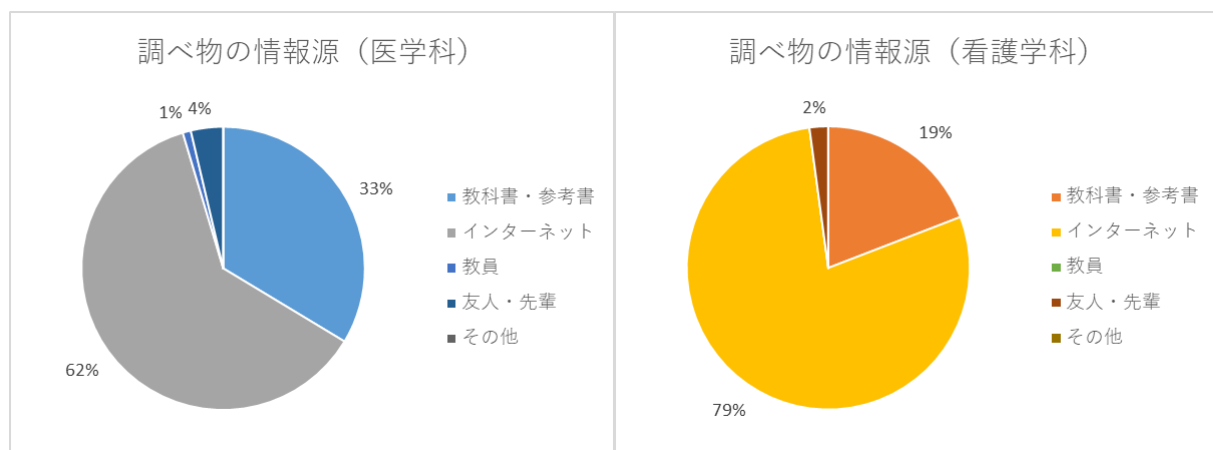


自己学習場所（医学科）



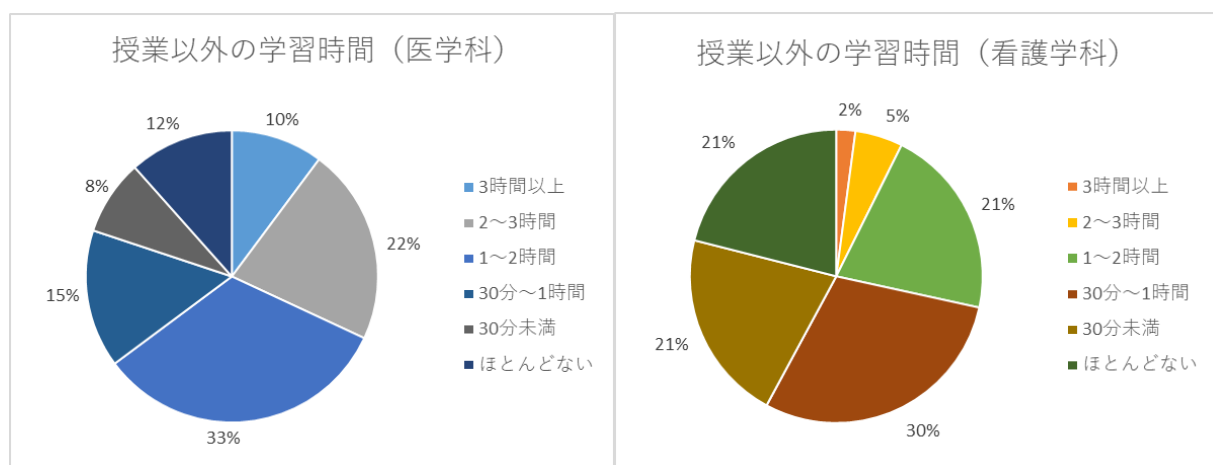
自己学習場所（看護学科）

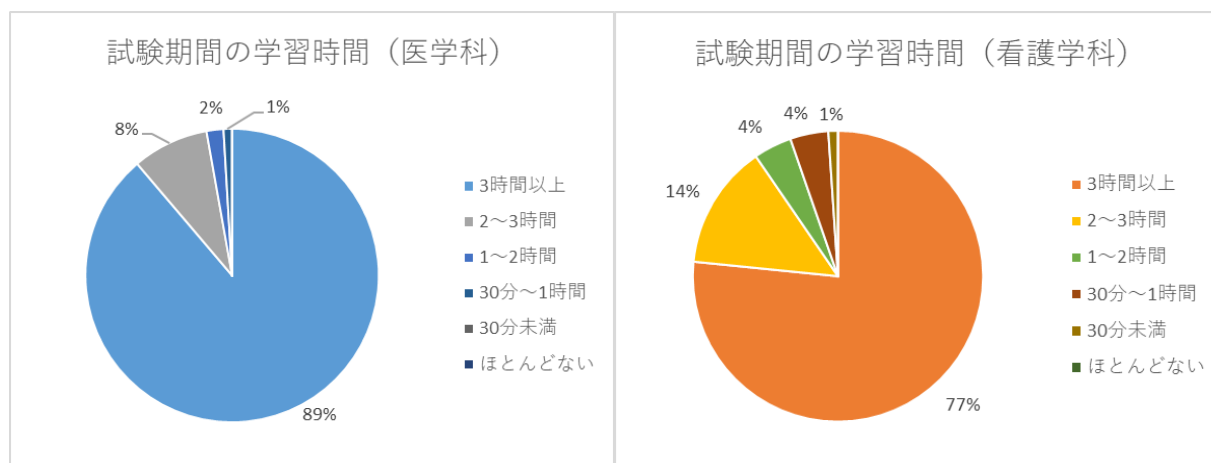




（授業以外の学習時間）

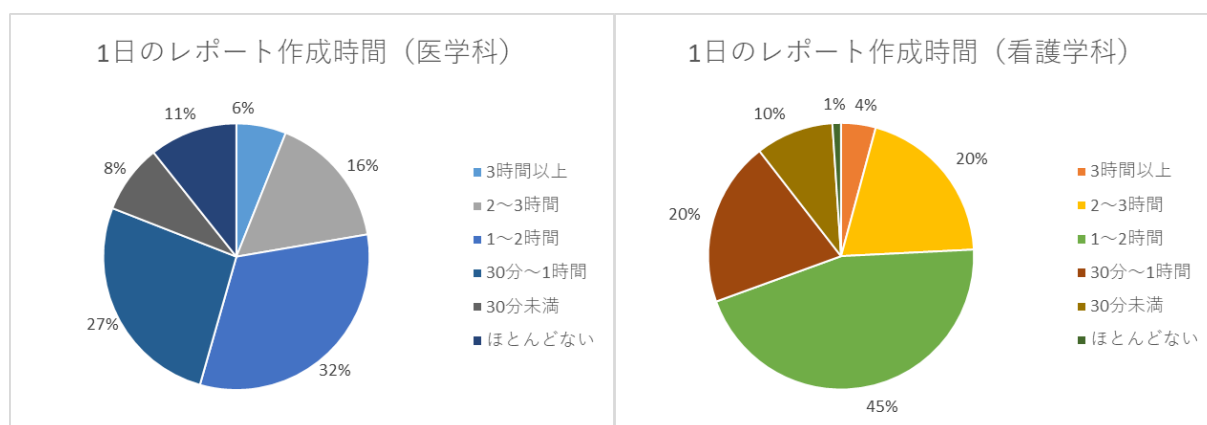
		医学科		看護学科		計	
授業以外	3時間以上	22	10.2%	2	2.1%	24	7.7%
	2～3時間	47	21.8%	5	5.3%	52	16.7%
	1～2時間	71	32.9%	20	21.1%	91	29.3%
	30分～1時間	33	15.3%	28	29.5%	61	19.6%
	30分未満	18	8.3%	20	21.1%	38	12.2%
	ほとんどない	25	11.6%	20	21.1%	45	14.5%
	計	216	100.0%	95	100.0%	311	100.0%
試験期間	3時間以上	190	88.8%	72	76.6%	262	85.1%
	2～3時間	18	8.4%	13	13.8%	31	10.1%
	1～2時間	4	1.9%	4	4.3%	8	2.6%
	30分～1時間	2	0.9%	4	4.3%	6	1.9%
	30分未満	0	0.0%	1	1.1%	1	0.3%
	ほとんどない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	214	100.0%	94	100.0%	308	100.0%





(1日のレポート作成時間)

		医学科		看護学科		計	
レポート	3時間以上	13	6.0%	4	4.2%	17	5.5%
	2～3時間	35	16.3%	19	20.0%	54	17.4%
	1～2時間	69	32.1%	43	45.3%	112	36.1%
	30分～1時間	57	26.5%	19	20.0%	76	24.5%
	30分未満	18	8.4%	9	9.5%	27	8.7%
	ほとんどない	23	10.7%	1	1.1%	24	7.7%
	計	215	100.0%	95	100.0%	310	100.0%



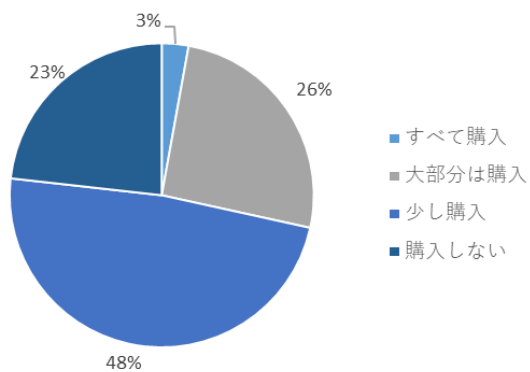
## <教材・参考書等の活用>

教科書の購入率は、医学科では「少し購入」の回答が最も多い一方、看護学科では約5割の学生が「すべて購入」と回答していることから、医学科の教科書購入率は看護学科よりも低いことが分かる。教科書を購入しない理由として、両学科ともに「高価である」の回答割合が高かった。また、講義概要の使用状況について、両学科とも「授業日程等の確認に利用」が最も多かった。

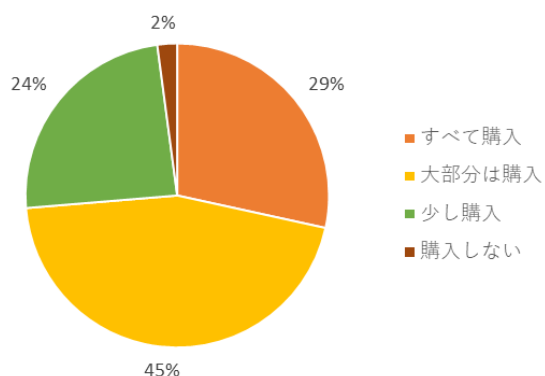
### (教科書等の購入率)

		医学科		看護学科		計	
購入率	すべて購入	6	2.8%	27	28.4%	33	10.8%
	大部分は購入	54	25.6%	43	45.3%	97	31.7%
	少し購入	102	48.3%	23	24.2%	125	40.8%
	購入しない	49	23.2%	2	2.1%	51	16.7%
	計	211	100.0%	95	100.0%	306	100.0%
購入しない理由	高価である	98	47.6%	30	43.5%	128	46.5%
	なくても授業が理解できる	41	19.9%	25	36.2%	66	24.0%
	先輩や友人の本を利用	53	25.7%	13	18.8%	66	24.0%
	図書館等の本を利用	14	6.8%	1	1.4%	15	5.5%
	計	206	100.0%	69	100.0%	275	100.0%

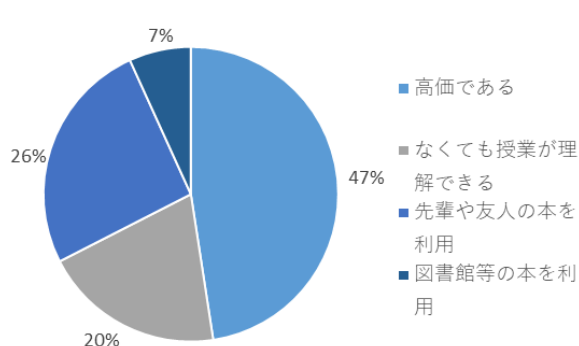
教科書等の購入率（医学科）



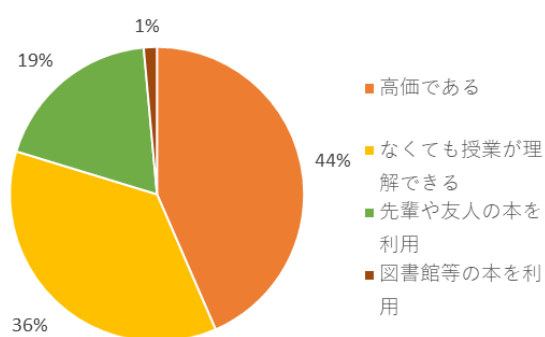
教科書等の購入率（看護学科）



購入しない理由（医学科）

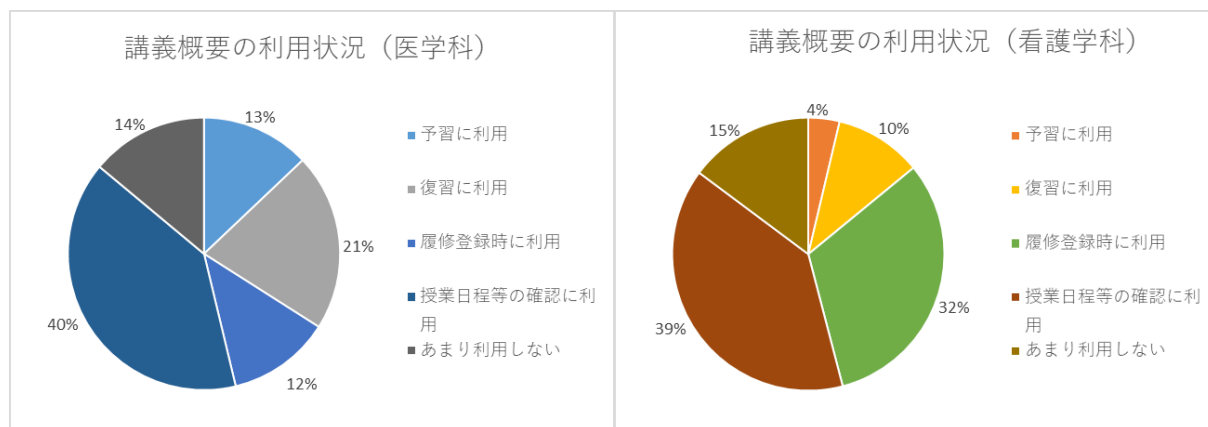


購入しない理由（看護学科）



(講義概要の使用状況) (複数回答)

	医学科		看護学科		計	
予習に利用	38	12.9%	5	3.7%	43	10.0%
復習に利用	62	21.1%	14	10.4%	76	17.7%
履修登録時に利用	36	12.2%	43	31.9%	79	18.4%
授業日程等の確認に利用	117	39.8%	53	39.3%	170	39.6%
あまり利用しない	41	13.9%	20	14.8%	61	14.2%
計	294	100.0%	135	100.0%	429	100.0%



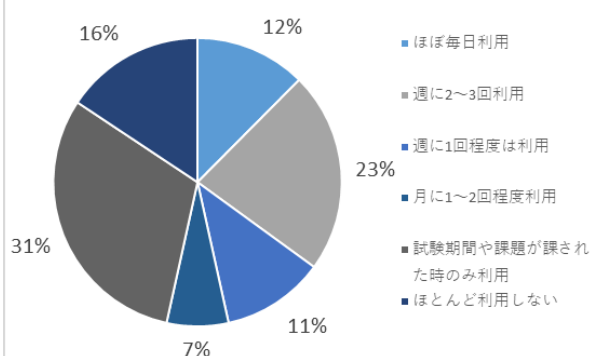
## V. 附属図書館の利用について

附属図書館の利用率は、試験期間や課題が課された時のみ利用している学生が医学科では約 3 割、看護学科では約 5 割となった。また、MMC の利用率は、ほとんど利用しない学生が両学科とも約 3 割となった。

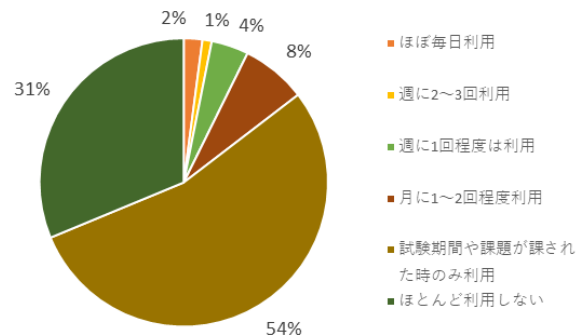
(附属図書館・MMC 利用率)

		医学科		看護学科		計	
附属図書館	ほぼ毎日利用	27	12.4%	2	2.1%	29	9.3%
	週に2～3回利用	49	22.6%	1	1.0%	50	16.0%
	週に1回程度は利用	25	11.5%	4	4.2%	29	9.3%
	月に1～2回程度利用	15	6.9%	7	7.3%	22	7.0%
	試験期間や課題が課された時のみ利用	67	30.9%	52	54.2%	119	38.0%
	ほとんど利用しない	34	15.7%	30	31.3%	64	20.4%
	計	217	100.0%	96	100.0%	313	100.0%
MMC	ほぼ毎日利用	2	0.9%	1	1.0%	3	1.0%
	週に2～3回利用	18	8.3%	0	0.0%	18	5.8%
	週に1回程度は利用	21	9.7%	7	7.3%	28	8.9%
	月に1～2回程度利用	22	10.1%	12	12.5%	34	10.9%
	試験期間や課題が課された時のみ利用	50	23.0%	16	16.7%	66	21.1%
	授業で利用するのみ	48	22.1%	31	32.3%	79	25.2%
	ほとんど利用しない	56	25.8%	29	30.2%	85	27.2%
	計	217	100.0%	96	100.0%	313	100.0%

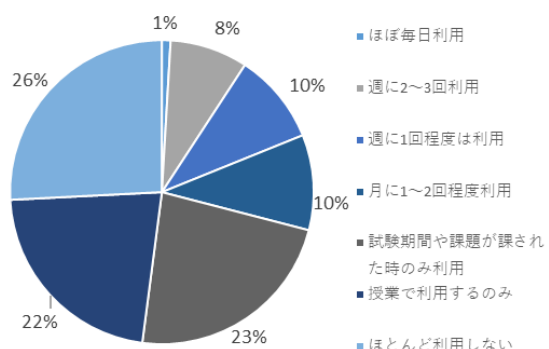
附属図書館利用率（医学科）



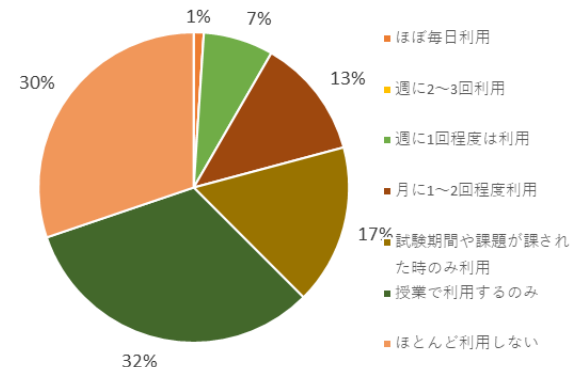
附属図書館利用率（看護学科）



MMC利用率（医学科）



MMC利用率（看護学科）

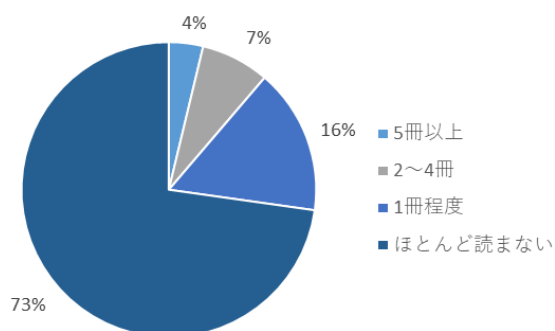


## <読書習慣>

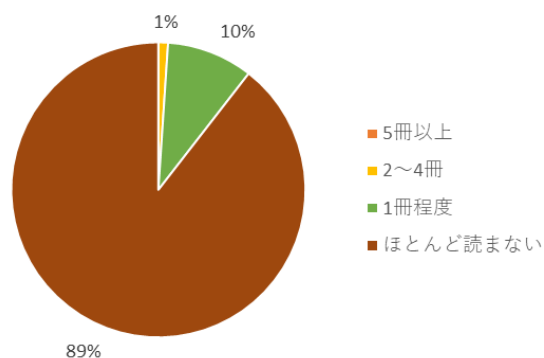
専門書は「ほとんど読まない」と回答した学生が、医学科では約 7 割、看護学科では約 9 割であり、教養書についても「ほとんど読まない」か、読んだ場合でも月に「1 冊程度」の学生が医学科では約 8 割、看護学科では約 9 割の結果であった。

		医学科		看護学科		計	
専門書	5冊以上	8	3.8%	0	0.0%	8	2.6%
	2～4冊	16	7.5%	1	1.1%	17	5.5%
	1冊程度	34	16.0%	9	9.5%	43	14.0%
	ほとんど読まない	155	72.8%	85	89.5%	240	77.9%
	計	213	100.0%	95	100.0%	308	100.0%
教養書	5冊以上	20	9.3%	2	2.1%	22	7.1%
	2～4冊	31	14.4%	8	8.5%	39	12.6%
	1冊程度	64	29.6%	18	19.1%	82	26.5%
	ほとんど読まない	101	46.8%	66	70.2%	167	53.9%
	計	216	100.0%	94	100.0%	310	100.0%

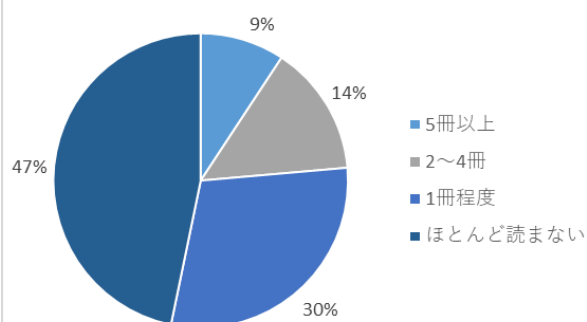
専門書（医学科）



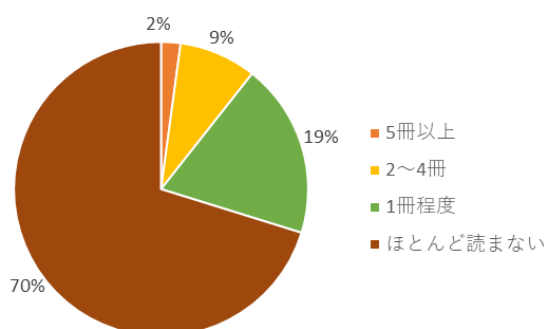
専門書（看護学科）



教養書（医学科）



教養書（看護学科）



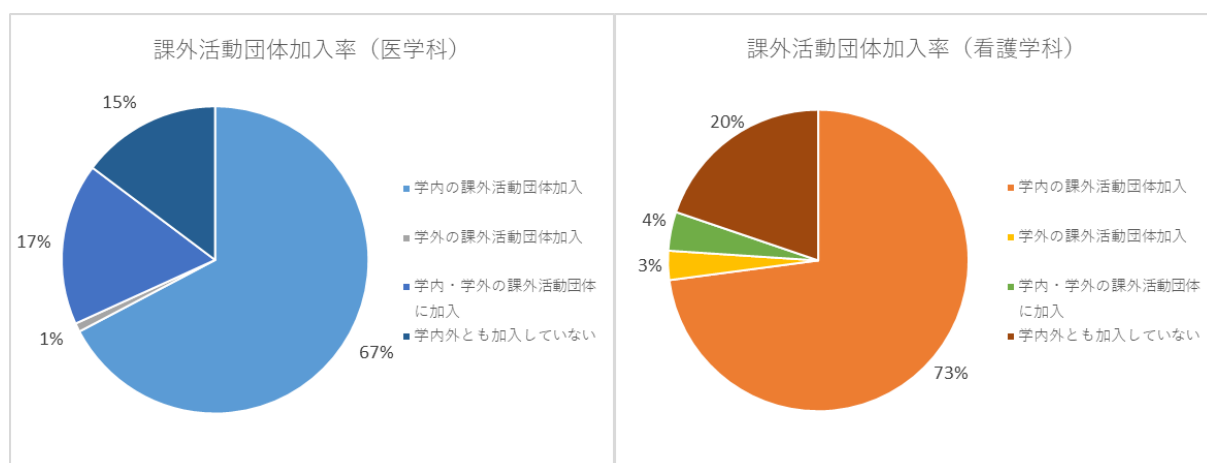
## VI. 課外活動について

### <課外活動団体について>

本学学生の課外活動団体加入率は、両学科とも約 7 割を占めている。所属理由の約半数は「活動内容に関心があった」ことである。一方、加入していない学生の主な理由としては、医学科は「特別な理由はない」、看護学科では「経済的負担が大きい」の回答が多かった。

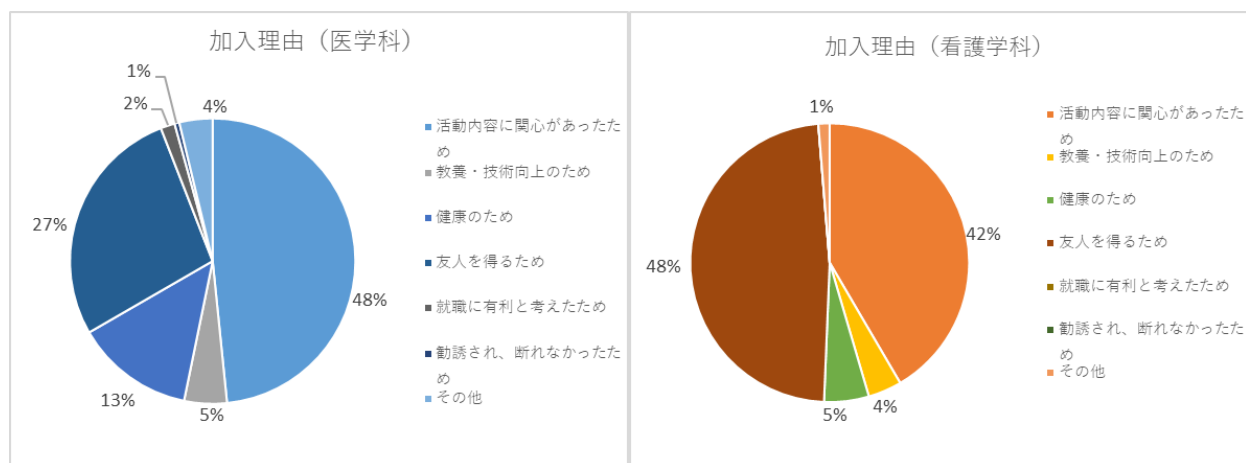
#### (課外活動団体加入率)

	医学科		看護学科		計	
学内の課外活動団体加入	146	67.3%	70	72.9%	216	69.0%
学外の課外活動団体加入	2	0.9%	3	3.1%	5	1.6%
学内・学外の課外活動団体に加入	37	17.1%	4	4.2%	41	13.1%
学内外とも加入していない	32	14.7%	19	19.8%	51	16.3%
計	217	100.0%	96	100.0%	313	100.0%



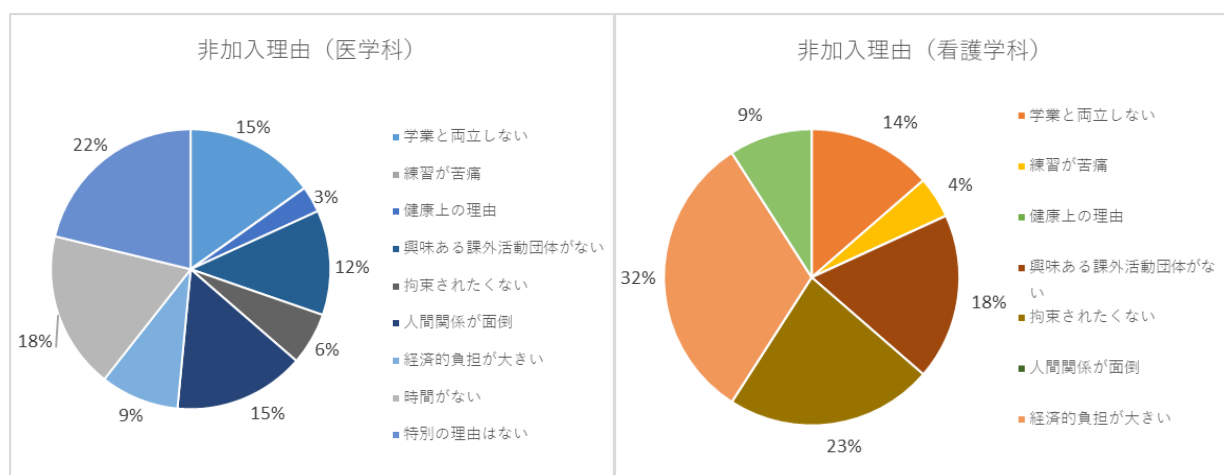
#### (加入の理由)

	医学科		看護学科		計	
活動内容に関心があったため	90	48.4%	32	41.6%	122	46.4%
教養・技術向上のため	9	4.8%	3	3.9%	12	4.6%
健康のため	25	13.4%	4	5.2%	29	11.0%
友人を得るため	51	27.4%	37	48.1%	88	33.5%
就職に有利と考えたため	3	1.6%	0	0.0%	3	1.1%
勧誘され、断れなかったため	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
その他	7	3.8%	1	1.3%	8	3.0%
計	186	100.0%	77	100.0%	263	100.0%



### （非加入の理由）

	医学科		看護学科		計	
学業と両立しない	5	15.2%	3	13.6%	8	14.5%
練習が苦痛	0	0.0%	1	4.5%	1	1.8%
健康上の理由	1	3.0%	0	0.0%	1	1.8%
興味ある課外活動団体がない	4	12.1%	4	18.2%	8	14.5%
拘束されたくない	2	6.1%	5	22.7%	7	12.7%
人間関係が面倒	5	15.2%	0	0.0%	5	9.1%
経済的負担が大きい	3	9.1%	7	31.8%	10	18.2%
時間がない	6	18.2%	0	0.0%	6	10.9%
特別な理由はない	7	21.2%	2	9.1%	9	16.4%
計	33	100.0%	22	100.0%	55	100.0%

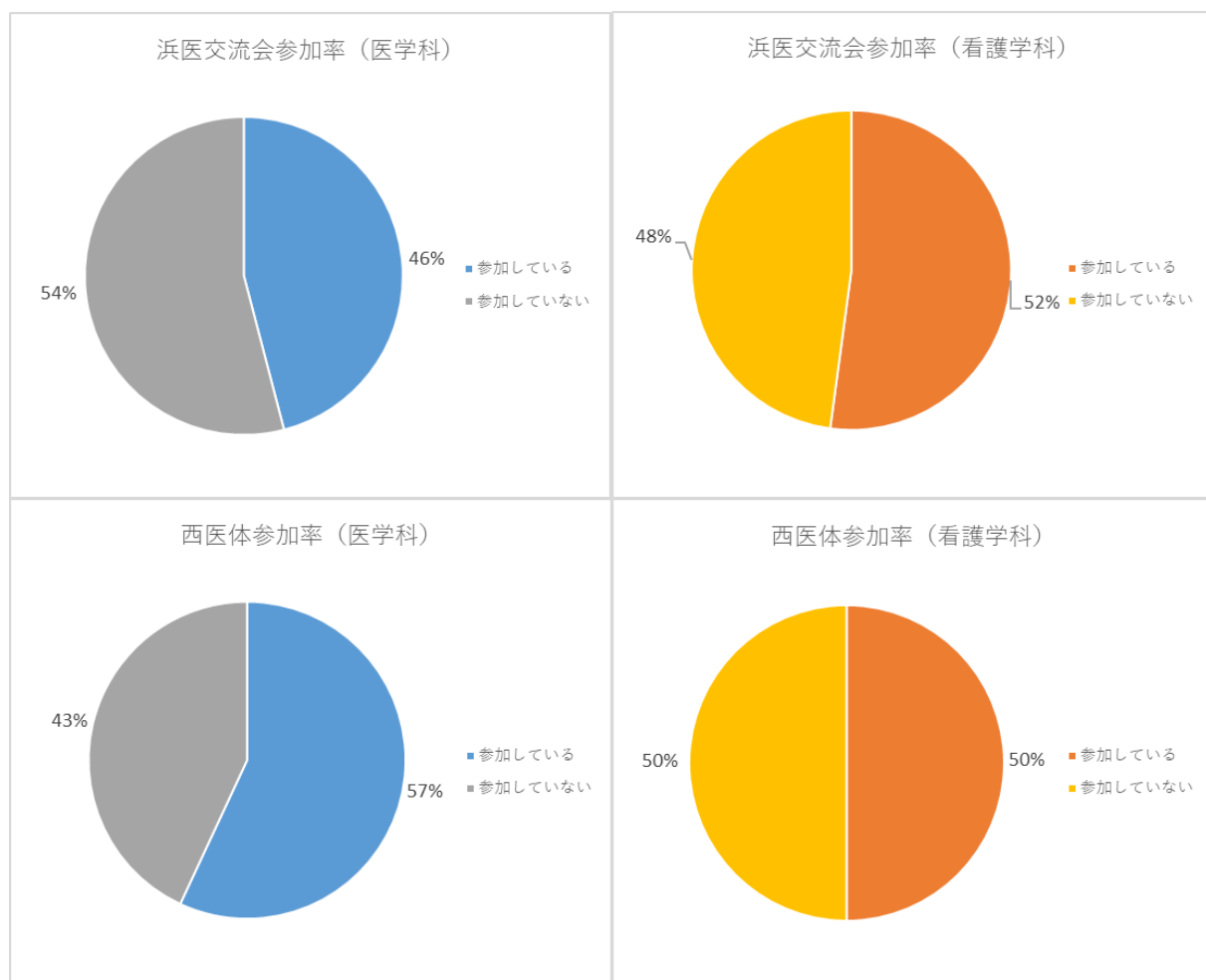


## <浜松医科大学との交流会・西医体・若鮎祭への参加率>

浜医交流会及び西医体の参加率は約 5 ～ 6 割であった。若鮎祭については、約 6 割の学生が参加している。

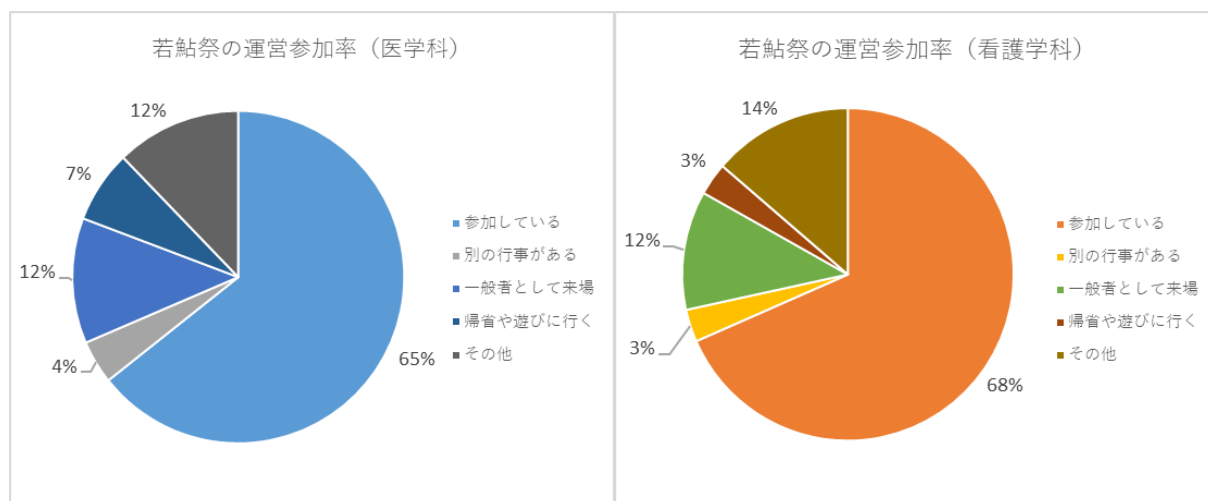
(浜医交流会・西医体参加率)

		医学科		看護学科		計	
浜医	参加している	96	45.9%	49	52.1%	145	47.9%
	参加していない	113	54.1%	45	47.9%	158	52.1%
	計	209	100.0%	94	100.0%	303	100.0%
西医体	参加している	119	56.9%	47	50.0%	166	54.8%
	参加していない	90	43.1%	47	50.0%	137	45.2%
	計	209	100.0%	94	100.0%	303	100.0%



(若鮎祭参加率)

	医学科		看護学科		計	
参加している	137	64.3%	65	68.4%	202	65.6%
別の行事がある	9	4.2%	3	3.2%	12	3.9%
一般者として来場	26	12.2%	11	11.6%	37	12.0%
帰省や遊びに行く	15	7.0%	3	3.2%	18	5.8%
その他	26	12.2%	13	13.7%	39	12.7%
計	213	100.0%	95	100.0%	308	100.0%

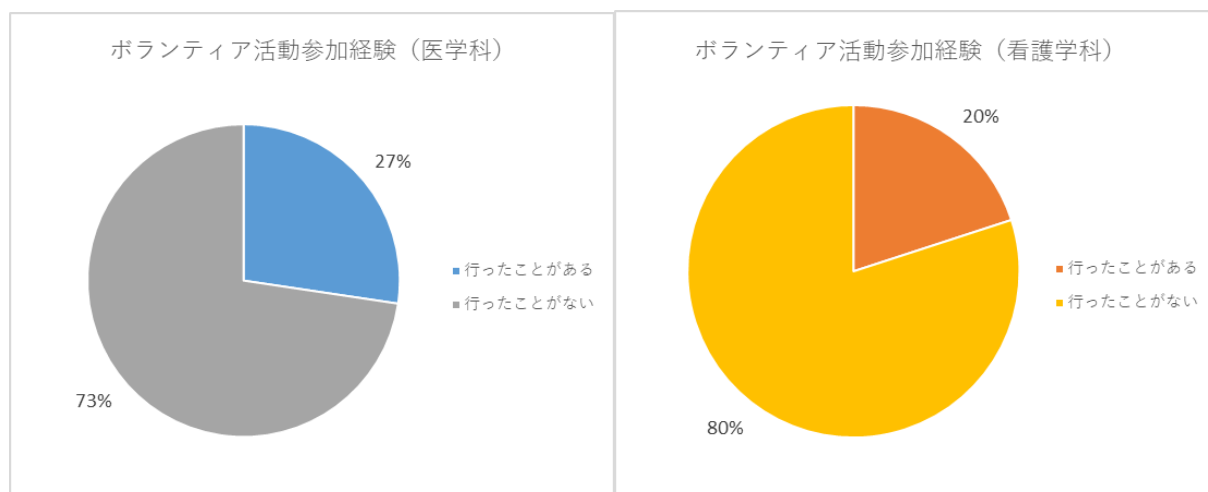


<ボランティア経験>

在学中にボランティアに携わったことがあると回答した学生は、医学科では約3割、看護学科では約2割であった。

(在学中のボランティア経験)

	医学科		看護学科		計	
行ったことがある	58	27.4%	19	20.0%	77	25.1%
行ったことがない	154	72.6%	76	80.0%	230	74.9%
計	212	100.0%	95	100.0%	307	100.0%



## VII. 卒業後の進路について

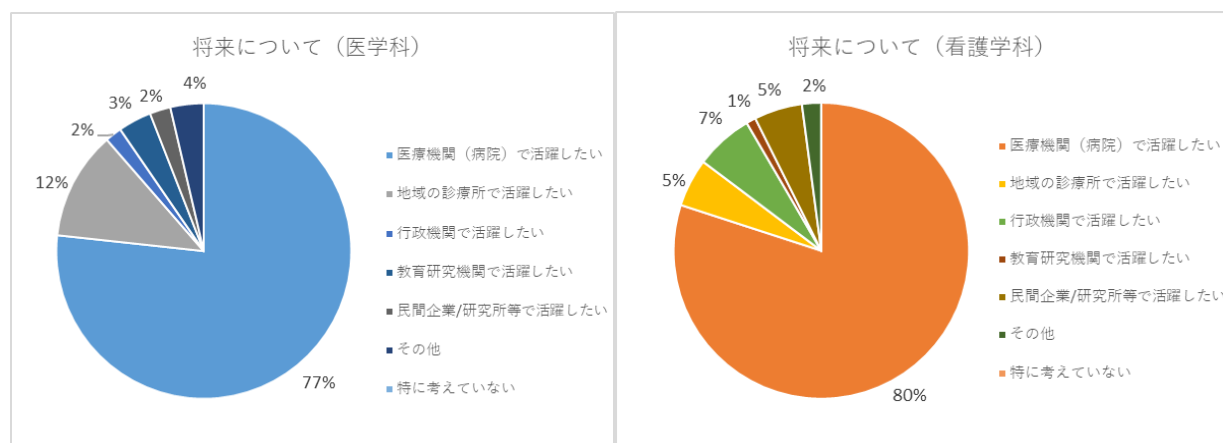
将来の理想像として、「医療機関（病院）で活躍したい」との回答が両学科ともに約 8 割であった。

希望就職先は、医学科では県外の病院との回答が約 4 割、県内の病院との回答が約 3 割、本学附属病院への就職希望は約 1 割であった。看護学科では県外の病院との回答が約 2 割、県内の病院との回答は約 1 割で、本学附属病院への就職希望は最も多く約 3 割であった。なお、大学院進学希望者は医学科にはいなかったが、看護学科には 2 名いた。

また、就職先を選ぶ基準において、医学科では「学んだ知識や技術が生かせる」「人間関係が良い」の 2 項目が多く、看護学科では、「人間関係が良い」の回答は約 3 割を占めた。

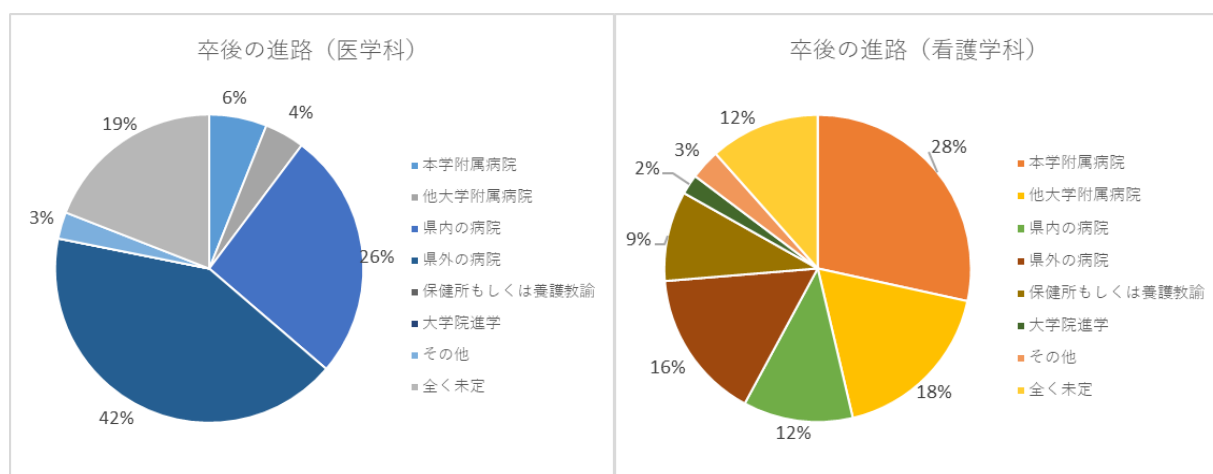
（将来の理想像）

	医学科		看護学科		計	
医療機関（病院）で活躍したい	168	76.7%	76	80.0%	244	77.7%
地域の診療所で活躍したい	26	11.9%	5	5.3%	31	9.9%
行政機関で活躍したい	4	1.8%	6	6.3%	10	3.2%
教育研究機関で活躍したい	8	3.7%	1	1.1%	9	2.9%
民間企業/研究所等で活躍したい	5	2.3%	5	5.3%	10	3.2%
その他	8	3.7%	2	2.1%	10	3.2%
特に考えていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	219	100.0%	95	100.0%	314	100.0%



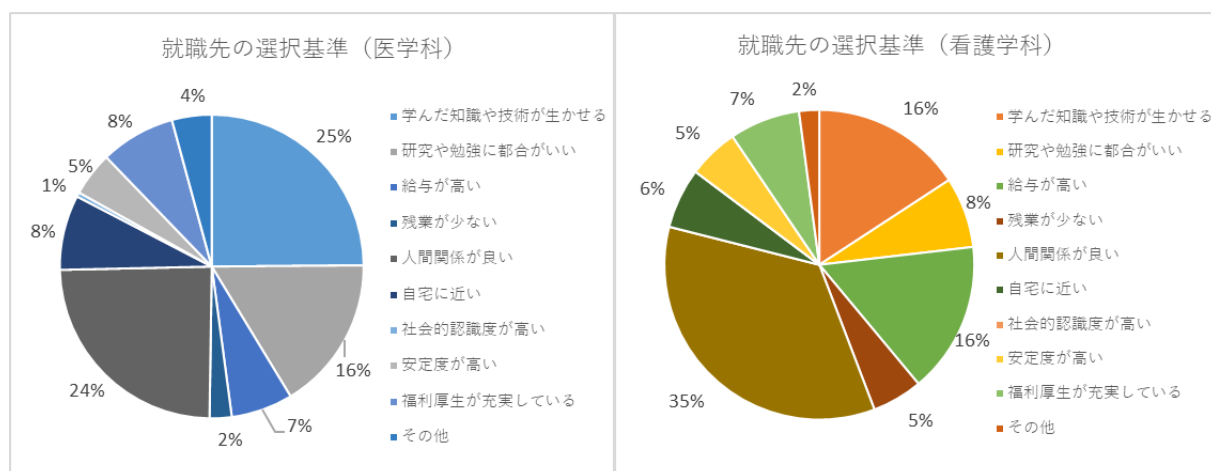
(希望就職先)

	医学科		看護学科		計	
本学附属病院	13	6.0%	27	28.4%	40	12.9%
他大学附属病院	9	4.2%	17	17.9%	26	8.4%
県内の病院	56	26.0%	11	11.6%	67	21.6%
県外の病院	90	41.9%	15	15.8%	105	33.9%
保健所もしくは養護教諭	0	0.0%	9	9.5%	9	2.9%
大学院進学	0	0.0%	2	2.1%	2	0.6%
その他	6	2.8%	3	3.2%	9	2.9%
全く未定	41	19.1%	11	11.6%	52	16.8%
計	215	100.0%	95	100.0%	310	100.0%



(就職先を選ぶ基準)

	医学科		看護学科		計	
学んだ知識や技術が生かせる	53	24.9%	15	15.8%	68	22.1%
研究や勉強に都合がいい	35	16.4%	7	7.4%	42	13.6%
給与が高い	14	6.6%	15	15.8%	29	9.4%
残業が少ない	5	2.3%	5	5.3%	10	3.2%
人間関係が良い	52	24.4%	33	34.7%	85	27.6%
自宅に近い	17	8.0%	6	6.3%	23	7.5%
社会的認識度が高い	1	0.5%	0	0.0%	1	0.3%
安定度が高い	10	4.7%	5	5.3%	15	4.9%
福利厚生が充実している	17	8.0%	7	7.4%	24	7.8%
その他	9	4.2%	2	2.1%	11	3.6%
計	213	100.0%	95	100.0%	308	100.0%



---

## 2025 年度 滋賀医科大学 学修・学生生活実態調査報告書

発行年月：2026 年 1 月

編集発行：滋賀医科大学 医学・看護学教育センター

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

Tel 077-548-3597（学務課）

